

# 和歌山の水産

平成29年



和歌山県  
農林水産部 水産局

# 本県水産業のあらまし

和歌山県は、我が国最大の半島である紀伊半島の西部に位置し、約 651 k m に及ぶリアス式海岸状の地形を有し、温暖な気候を利用して、水産業のほか農林業など一次産業を主体として栄えた地域です。

本県の海域は内海性、外洋性に二分され、それぞれの海域特性に応じて各種漁業が営まれています。内海性の海域では、一本釣漁業のほかにタチウオやエビ類などを対象とした小型底びき網漁業、シラス、イカ類を対象とした機船船びき網漁業等が営まれています。一方外洋性の海域は、本州最南端の串本町沖合海域を流れる黒潮本流の離接岸に強い影響を受け、カツオやマグロ類を対象としたひき縄釣漁業、はえ縄漁業、一本釣漁業のほかアジ類やサバ類を対象としたまき網漁業、定置網漁業、棒受網漁業、イセエビや磯魚を主体とした刺網漁業等種々の漁業が営まれています。

内水面においては紀の川から熊野川まで豊かな清流に恵まれ、アユやアマゴ等の遊漁がおこなわれており、毎年県内外から多くの釣客が訪れています。また、紀の川、有田川、日高川及び富田川周辺地区では、これらの清流の伏流水を利用してアユ等の養殖業が営まれています。

近年の水産業は全国的に厳しい状況にありますが、本県においては、平成38年度を目標とする「和歌山県長期総合計画」を本年4月に策定し、水産関係では「時代の変化に対応できる収益性の高い水産業」の実現をめざして、「資源管理対策の推進」、「収益性の向上に向けた経営構造改革」、「経営の多角化」、「担い手の育成・確保」に取り組んでいます。

具体的には、公的な資源管理と漁業者自らによる計画的な資源管理の推進、イサキ・ヒラメ等の種苗放流、藻場回復等の磯根漁場の再生等により資源管理対策を推進します。また、漁業者グループによる複合経営等や、新たな養殖魚種の開発等による養殖業の推進、県産魚のブランド化や販路拡大の支援等により経営構造の改革を進めます。さらに、観光業と連携したブルーツーリズムの推進により経営の多角化を図るほか、新規就業者の確保や中核的な役割を担う人材を育成します。

小誌は本県の水産業の現状を紹介したもので、水産関係者をはじめ各方面の方々にご活用頂ければ幸いに存じます。

[資料]

平成27年漁業・養殖業生産統計年報

2013漁業センサス

農林水産部水産局業務資料

県土整備部港湾空港局港湾漁港整備課業務資料

[表中に使用した符号]

—は、事実のないもの

χは、秘密保護のため統計数値を公表しないもの

…は、事実不詳又は調査を欠くもの

表紙写真 漁業取締船「はやぶさ」(平成28年12月竣工)

# 目 次

I	和歌山県水産業の概要	
1	和歌山県漁業の全国に占める位置	1
(1)	漁業生産構造	1
(2)	生産量・産出額の占める割合	1
(3)	生産量・産出額の順位	2
2	漁業生産構造	3
(1)	漁業経営体	4
(2)	漁業世帯・漁業就業者	5
(3)	漁船	6
(4)	漁港	6
(5)	漁業権免許状況	6
(6)	漁業許可状況	7
3	漁業生産	9
(1)	漁業・養殖業部門別生産量	10
(2)	主要海面漁業・養殖業種類別生産量	10
(3)	海面漁業魚種別漁獲量	11
(4)	海面養殖業収獲量	16
(5)	内水面漁業・養殖業生産量	17
(6)	漁業産出額	18
4	水産加工	22
II	漁業振興施策	25
(1)	磯根漁場再生事業	27
(2)	漁業経営構造改善事業	28
(3)	水産基盤整備事業(漁場整備)	28
(4)	水産基盤整備事業等(漁港整備)	30
(5)	栽培漁業推進対策事業	31
(6)	内水面漁業振興対策事業	32
(7)	プレミアム和歌山認定品	33
(8)	金融対策事業	34
III	組織等	35
(1)	和歌山県水産行政機構	35
(2)	水産関係予算	36
(3)	水産団体	37

# I 和歌山県水産業の概要

## 1 和歌山県漁業の全国に占める位置（平成27年）

海面及び内水面漁業の生産量は、平成26年に比べ734トン(3%)増加して26,744トンになり、全国27位であった。魚種別漁獲量で全国的に上位を占めている種類は、ムロアジ類が2,296トンで全国の16%を占め3位、イセエビが166トンとなり全国の14%を占め2位に、また、タチウオが728トンとなり全国の11%を占め3位になっている。ほか、イサキ、ウルメイワシが10位以内に入っている。養殖業の生産量ではクロマグロが全国の7%を占める1,045トンで5位、マダイが全国の3%を占める1,561トンで6位であった。また、内水面養殖アユは全国の19%を占める984トンで2位であった。

海面漁業の産出額は100万円(0.01%)減少して93億5,100万円と全国28位、海面養殖業の産出額は10億1,100万円(18%)増加して、66億8,100万円と全国19位であった。海面漁業・養殖業の合計の産出額は10億1,000万円(7%)増加して160億3,200万円になり、全国27位であった。

### (1) 漁業生産構造

項目	単位	和歌山県(A)	全国(B)	(A)/(B) %
漁業経営体	経営体	2,033	94,507	2.2
漁業就業者数	人	2,907	180,985	1.6
自営漁業就業者数	人	1,979	109,247	1.8
漁業雇われ就業者数	人	928	71,738	1.3
使用漁船隻数	隻	2,892	152,998	1.9

\* 2013漁業センサスより

### (2) 生産量・産出額の占める割合

(生産量：t 産出額：百万円)

項目			和歌山県(A)	全国(B)	(A)/(B) %
生産量	海面	漁業	22,901	3,550,003	0.6
		養殖業	2,845	1,069,017	0.3
		小計	25,746	4,619,021	0.6
	内水面	漁業	7	32,917	0.02
		養殖業	991	36,336	2.7
		小計	998	69,253	1.4
合計			26,744	4,688,274	0.6
産出額	海面	漁業	9,351	1,000,861	0.9
		養殖業	6,681	486,903	1.4
	合計		16,032	1,487,764	1.1

\* 平成27年漁業・養殖業生産統計(平成29年5月現在)より

\* 捕鯨業を除く

(3) 生産量・産出額の順位

平成27年 漁業総生産量および海面漁業産出額の全国順位

(生産量：t 産出額：百万円)

項目		順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
総生産量	海面	合計	北海道	長崎	宮城	青森	静岡	愛媛	三重	岩手	宮崎	兵庫	30位	和歌山 25,746
		漁業	北海道	長崎	茨城	静岡	宮城	三重	愛媛	宮崎	島根	青森	27位	和歌山 22,901
		養殖業	北海道	広島	青森	宮城	兵庫	佐賀	愛媛	鹿児島	熊本	岩手	23位	和歌山 2,845
	内水面	漁業	北海道	青森	島根	茨城	岩手	新潟	山形	東京	神奈川	宮城	34位	和歌山 7
		養殖業	鹿児島	愛知	宮崎	静岡	長野	福島	岐阜	茨城	和歌山	山梨	9位	和歌山 991
		合計	北海道	長崎	愛媛	鹿児島	宮城	静岡	青森	高知	三重	兵庫	27位	和歌山 16,032
産出額	海面	合計	北海道	長崎	愛媛	鹿児島	宮城	静岡	青森	高知	三重	兵庫	27位	和歌山 16,032
		漁業	北海道	長崎	静岡	宮城	青森	愛媛	高知	三重	岩手	宮崎	28位	和歌山 9,351
		養殖業	北海道	愛媛	鹿児島	長崎	熊本	大分	佐賀	高知	広島	宮城	19位	和歌山 6,681

注：生産量のうち海面養殖業及び合計については茨城県・東京都が、内水面漁業については福井県・山梨県・滋賀県・鹿児島県が、内水面養殖業については大阪府・長崎県・沖縄県が秘密保護のため順位に含まれていない。また、産出額のうち海面養殖業及び合計については山形県・茨城県・東京都が秘密保護のため順位に含まれていない。

注：生産量・産出額は共に都道府県の積み上げ値であり、捕鯨業は除く。

平成27年 全国10位以内に入る主な漁業種類

(単位：t)

区分	全国値	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
沿岸まぐろ はえ縄	5,532	宮崎	沖縄	宮城	岩手	青森	和歌山	高知	千葉	北海道	三重
沿岸かつお 一本釣	10,746	高知	愛媛	三重	鹿児島	沖縄	宮崎	徳島	和歌山	神奈川	

平成27年 全国10位以内に入る主な魚種

(単位：t)

区分	全国値	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
いせえび	1,199	三重	和歌山	千葉	静岡	徳島	宮崎	長崎	鹿児島	高知	東京
たちうお	6,953	愛媛	大分	和歌山	広島	長崎	兵庫	徳島	熊本	千葉	宮崎
むろあじ類	14,837	長崎	宮崎	和歌山	鹿児島	高知	兵庫	愛媛	静岡	三重	大分
いさき	4,149	長崎	福岡	山口	三重	島根	高知	和歌山	大分	愛媛	千葉
うるめいわし	97,794	長崎	宮崎	三重	愛媛	鹿児島	高知	島根	熊本	和歌山	大分
養殖くろまぐろ	14,825	長崎	鹿児島	高知	三重	和歌山	大分	愛媛			
養殖まだい	63,605	愛媛	熊本	三重	高知	長崎	和歌山	鹿児島	宮崎	静岡	大分
内水面 養殖あゆ	5,084	愛知	和歌山	岐阜	滋賀	栃木	徳島	宮崎	静岡	熊本	大分

注：養殖まだいについては、千葉県・東京都・大阪府・兵庫県・山口県・福岡県・沖縄県が秘密保護のため順位に含まれていない。

注：養殖くろまぐろについては、京都府・山口県・熊本県・沖縄県が秘密保護のため順位に含まれていない。

注：内水面養殖あゆについては、北海道・青森県・宮城県・福島県・東京都・新潟県・富山県・石川県・福井県・兵庫県・奈良県・鳥取県・島根県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県が秘密保護のため順位に含まれていない。

## 2 漁業生産構造

### (1) 漁業経営体

平成25年の海面漁業経営体数は2,033経営体で、前回調査(平成20年(2008年漁業センサス))に比べて、480経営体(19%)減少した。経営組織別では、個人経営体は1,976経営体、団体経営体は57経営体で、前回調査に比べそれぞれ18%、48%減少した。

主とする漁業種類では、「釣」は990経営体(構成比49%)で最も多く、次いで「刺網」は411経営体(構成比20%)となっており、いずれも前回調査に比べ約20%減少している。また、減少率では、まき網(41%減少して10経営体)、まだい養殖(59%減少して11経営体)などが顕著である。まぐろ養殖では2経営体増加して4経営体となっている。

階層別では、動力漁船3トン未満階層が821経営体(構成比40%)、3～5トン階層が470経営体(構成比23%)であり、前回調査に比べそれぞれ25%、14%減少した。

10年間(平成15年と平成25年)の対比では、全体で1,005経営体(34%)減少している。

### (2) 漁業就業者

平成25年の漁業就業者数は2,907人で、前回調査に比べ1,015人(26%)減少した。男子は889人(24%)減少して2,814人になった。60歳以上の男子漁業就業者は409人(20%)減少して1,613人になり、男子漁業就業者に占める構成比率は平成13年の63%をピークに減少しているが、依然として半数以上の57%であり、漁業者の減少及び高齢化を顕著に示している。

10年間(平成15年と平成25年)の対比では、1,761人(38%)減少している。

### (3) 漁 船

登録動力漁船隻数は、漁業経営体数の減少に伴い、10年間(平成19年と28年の対比)に一本釣漁船が554隻(15%)、刺網が234隻(30%)、敷網が58隻(38%)、採介藻が38隻(24%)減少するなど、合計で1,204隻(20%)減少し、4,792隻になった。

平成27年末から平成28年末までの1年間では、一本釣が81隻(3%)、刺網が20隻(4%)減少するなど、全体として150隻(3%)減少している。

### (4) 漁 港

県内の漁業地区に94漁港があり、その内訳は第4種漁港2港、第3種漁港4港、第2種漁港11港、第1種漁港77港である。

### (5) 漁業権免許状況

海面には地先共同漁業権42件、つきいそ漁業権87件等の共同漁業権が135件、定置漁業権が11件、区画漁業権が128件、合計274件の漁業権が免許されている。

内水面には主にアユ、アマゴの第五種共同漁業権が16河川水系で23件が免許されている。

### (6) 漁業許可状況

#### ア 知事許可漁業

小型機船底びき網漁業193件、機船船びき網漁業197件、敷網漁業264件、固定式刺網漁業641件等合計1,815件の漁業許可がされており、瀬戸内海区では底びき網漁業、船びき網漁業が、太平洋区では刺網漁業、敷網漁業が多い。

#### イ 大臣許可漁業

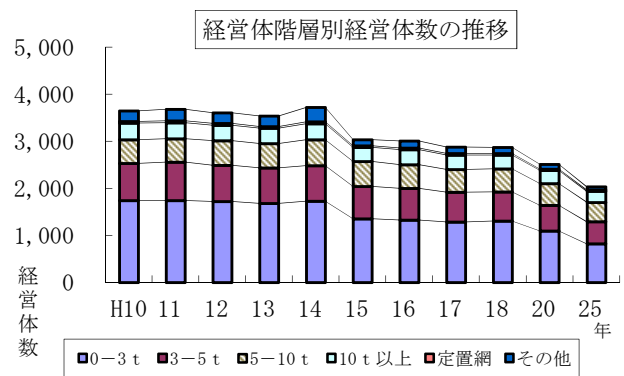
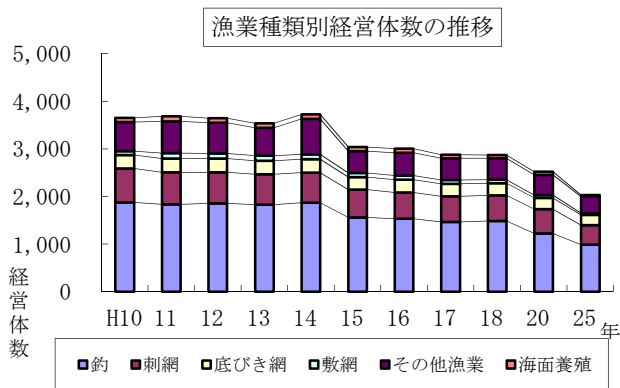
近海かつお・まぐろ漁業4件、小型捕鯨業2件、合計6件の許認可を受けているほか、沿岸まぐろはえ縄漁業が3件届出により操業している。



(1) 漁業経営体

区分	年次	H10	11	12	13	14	15	16	17	18	20	25	
経営体階層別	漁船非使用	118	130	128	108	194	47	51	43	47	35	32	
	無動力	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	
	動力	0-3トン	1,745	1,743	1,722	1,681	1,729	1,356	1,325	1,286	1,307	1,096	821
		3-5トン	786	818	788	755	752	689	679	630	620	547	470
		5-10トン	505	495	525	519	552	531	499	485	491	462	412
	船	10トン以上	355	339	324	324	344	294	320	309	292	279	235
	大型定置	6	8	8	9	9	9	9	9	8	8	6	
	小型定置	29	31	31	29	29	24	24	25	24	20	20	
	地びき網	17	13	7	16	18	6	12	15	11	…	…	
	浅海養殖	89	103	93	96	94	82	87	77	69	65	37	
計	3,651	3,680	3,626	3,537	3,721	3,038	3,006	2,879	2,869	2,513	2,033		
経営組織別	個人経営	3,510	3,519	3,478	3,377	3,564	2,911	2,854	2,738	2,733	2,403	1,976	
	漁業協同組合	9	5	7	9	9	8	9	8	8	4	4	
	漁業生産組合	10	17	9	8	8	6	6	5	6	4	3	
	共同経営	81	100	111	104	101	68	92	84	85	64	26	
	会社経営	37	35	34	35	35	40	40	39	33	36	24	
	その他	4	4	4	4	4	5	5	5	4	2	—	
計	3,651	3,680	3,643	3,537	3,721	3,038	3,006	2,879	2,869	2,513	2,033		
主要漁業種別	近海捕鯨	2	1	2	2	2	2	2	2	2	1	2	
	小型底びき網	288	291	287	283	282	265	269	262	252	236	210	
	まき網	17	19	20	17	20	19	19	18	18	17	10	
	刺網	708	672	654	637	632	581	549	536	540	514	411	
	釣	1,877	1,834	1,853	1,827	1,867	1,562	1,535	1,468	1,486	1,223	990	
	まぐろ延縄	45	43	35	37	39	27	30	26	23	19	15	
	その他の延縄	61	40	47	44	45	44	44	42	46	50	45	
	大型定置網	6	8	8	9	9	9	9	9	8	8	6	
	小型定置網	29	31	31	29	29	24	24	25	24	20	20	
	敷網	80	114	113	108	106	85	88	80	76	59	40	
	地びき網	17	13	12	16	18	6	12	15	11	—	—	
	船びき網	109	126	131	117	122	97	108	105	97	81	72	
	採貝	207	275	243	218	258	165	165	150	150	178	138	
	採藻	45	61	62	49	142	19	13	12	13	—	—	
	その他漁業	70	49	48	48	56	51	52	52	54	42	37	
	真珠養殖	3	3	3	3	3	2	2	1	1	1	—	
	ぶり養殖	5	8	7	6	7	6	6	6	6	3	2	
	まだい養殖	49	48	48	48	44	42	44	43	34	27	11	
	のり類養殖	11	9	9	8	9	6	4	3	1	6	—	
	わかめ類養殖	6	17	14	14	14	10	14	13	14	17	15	
その他養殖	16	18	16	17	17	16	17	11	13	11	9		
計	3,651	3,680	3,643	3,537	3,721	3,038	3,006	2,879	2,869	2,513	2,033		

※平成20年(2008年漁業センサス)以降、経営組織別のその他に官公庁・学校など試験研究機関は含まれていない  
 ※平成20年(2008年漁業センサス)以降、敷網と地びき網はその他網漁業に含まれる  
 ※平成19年以降の漁業経営体については、5年に1回の漁業センサス年のみ調査、公表されている  
 ※平成14年のみ海上作業従事日数30日未満を含む

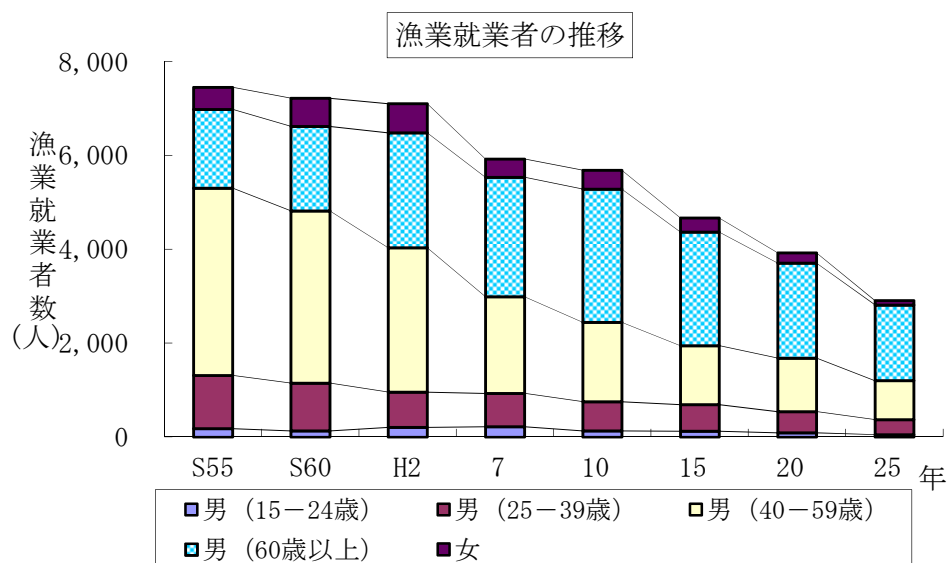


(2) 漁業世帯・漁業就業者

区分		年次	S60	H2	7	10	11	12	13	14	15	20	25
世帯数	個人漁業経営体		4,300	4,170	3,830	3,510	3,520	3,480	3,440	3,440	2,911		
	漁業従事者世帯		1,930	1,860	1,210	1,401	1,320	1,300	1,290	1,290	1,143		
	合計		6,230	6,030	5,040	4,911	4,840	4,780	4,730	4,730	4,054		
世帯員数	男	14歳以下	2,900	890	1,100	864	930	790	760	830	701	346	240
		15歳以上	9,310	6,510	7,230	6,868	6,730	6,810	6,790	6,660	5,512	3,364	2,739
		小計	11,300	7,400	8,330	7,732	7,660	7,600	7,550	7,490	6,213	3,710	2,979
	女	14歳以下	1,750	1,030	1,290	876	930	800	910	1,060	660	320	214
		15歳以上	9,320	6,280	6,920	6,691	6,560	6,650	6,530	6,330	5,110	3,403	2,349
		小計	11,070	7,310	8,200	7,567	7,490	7,450	7,440	7,390	5,770	3,364	2,563
合計		22,370	14,710	16,530	15,299	15,150	15,020	14,960	14,880	11,983	7,113	5,542	
漁業就業者数	男	15-24歳	130	210	220	130	120	110	110	90	127	88	51
		25-39歳	1,020	750	710	620	660	580	520	560	565	454	322
		40-59歳	3,670	3,070	2,060	1,693	1,450	1,310	1,280	1,350	1,251	1,139	828
		60歳以上	1,800	2,450	2,540	2,835	3,100	3,230	3,290	3,190	2,423	2,022	1,613
		(男に占める割合%)	( 27.2 )	( 37.8 )	( 45.8 )	( 53.7 )	( 58.2 )	( 61.9 )	( 63.3 )	( 61.5 )	( 55.5 )	( 54.6 )	( 57.3 )
	小計	6,620	6,480	5,540	5,278	5,330	5,220	5,200	5,190	4,366	3,703	2,814	
	女	600	620	390	404	360	360	320	310	302	219	93	
合計		7,220	7,100	5,930	5,682	5,690	5,580	5,520	5,500	4,668	3,922	2,907	

※平成16年以降、世帯数の調査は実施されていない。

※平成16年以降の漁業就業者数については、5年に1回の漁業センサス年のみ調査、公表されている。



(3) 漁 船 (平成28年12月末現在)

ア 漁業種別動力漁船隻数

区分	年次	H19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
採介藻		158	152	151	149	141	135	121	122	122	120
定置網		91	91	89	90	91	91	84	80	80	77
一本釣		3,639	3,509	3,452	3,443	3,385	3,328	3,312	3,229	3,166	3,085
はえなわ		15	14	15	15	15	13	14	14	14	12
刺網		774	751	726	695	680	659	603	590	560	540
まき網		26	25	24	24	24	23	20	22	22	18
まき網附属船		76	85	75	68	66	62	60	56	57	58
敷網		154	147	144	135	134	129	114	104	103	96
底びき網		278	263	260	259	255	250	237	232	201	186
ひき網		273	266	270	264	251	226	211	202	192	192
かつおまぐろ		22	20	18	17	16	15	14	13	12	6
捕鯨		4	4	5	6	6	6	9	9	9	9
官公庁船		37	38	39	37	37	38	44	45	48	49
運搬船		137	140	136	130	125	114	111	109	105	98
雑漁業		312	303	300	304	303	295	260	253	251	246
合計		5,996	5,808	5,704	5,636	5,529	5,384	5,214	5,080	4,942	4,792

イ トン数階層別・機関種類別動力漁船隻数

区分	年次	H27	28	
無動力		78	68	
動力階層別	トン数	0-3 t	3,095	3,031
		3-5 t	874	825
		5-10 t	739	713
		10-20 t	225	215
		20-30 t	0	0
		30-50 t	5	6
		50-100 t	1	1
		100 t以上	3	1
		小計	4,942	4,792
	機関種類別	ジーゼル	3,328	3,188
電気点火		1,614	1,604	
小計		4,942	4,792	
合計隻数		5,020	4,860	
合計トン数		17,196	15,972	
合計馬力数		357,349	351,060	

(4) 漁 港 (平成28年)

港種別漁港数

第1種	第2種	第3種	第4種	合計
77	11	4	2	94

(5) 漁業権免許状況 (平成29年3月末現在)

ア 海面

種類	共同				定置
	地先	つきいそ	飼付	計	
件数	42	87	6	135	11

種類	特定区画										合計
	のり	わかめ	ひろめ	かき	ひおうぎ	真珠母貝	魚類	くろまぐろ	あわび	地蔵	
件数	1	36	31	5	5	1	44	4	1	128	274

イ 内水面

第五種共同漁業権 23件(あゆ、あまご、こい、うなぎ、もくずがに)

(6) 漁業許可状況

ア 知事許可漁業

(平成29年3月末現在)

海 区		瀬 戸 内 海 区					太 平 洋 区					計	
		和歌山市	海南市	有田市	有田郡	日 高 郡	御坊市	田辺市	西牟婁郡	新宮市	東牟婁郡		
漁業種類	郡 市												
	瀬戸内海及び外海	49	7	108	19	3	—	—	—	—	—	—	186
	外海	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	—	5
底びき	餌びき	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2
	瀬戸内海	18	10	40	42	4	—	—	—	—	—	—	114
	外海	—	—	—	—	—	6	—	19	—	4	—	29
船	さより	4	18	10	16	—	—	—	6	—	—	—	54
	ま	1 そう	—	—	—	—	6	—	1	—	1	2	10
		2 そう	—	—	—	—	2	—	2	4	—	—	8
き	小	1 そう	—	—	—	—	—	—	3	—	1	—	4
		2 そう	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	2
	このしろ	4	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	6
小型定置網	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
ごち網	—	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—	6	
敷	さんま	—	—	—	—	—	4	—	—	1	1	53	59
	あじ・さば	—	—	—	—	—	83	9	7	6	—	100	205
いか玉	4	3	—	4	22	2	—	—	—	—	—	35	
流し網(さんま)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	13	14
固	磯 建	—	—	—	—	8	110	43	19	26	—	93	299
	えび 刺	—	—	—	—	29	—	—	—	25	—	114	168
	底 刺	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	19	20
式	磯建・底刺	—	—	—	—	—	—	—	—	25	—	—	25
	磯建・建網	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	5
	えび刺・底刺	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	2
網	えび刺・磯建	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	122	122
	磯 打	—	—	—	—	20	31	—	27	100	—	152	330
その他の刺網	このしろ・ぼら刺	—	—	—	19	—	—	5	—	—	—	—	24
	あじ 囲 刺	—	—	7	—	—	—	—	—	—	—	—	7
	あおりいか刺	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	4
いるか突棒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	56	67
鯨類追込網	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
さんご	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1
合 計	80	38	167	104	94	243	60	93	190	21	725	1815	



刺網からのいせえび取り外し作業 (串本町古座)

## イ 大臣許可漁業等

(平成29年3月末現在)

区分		市町名						計	備考	
		由良町	みなべ町	田辺市	串本町	太地町	那智勝浦町			
かつお おまぐろ 漁業	遠洋	—	—	—	—	—	—	—		
		—	—	—	—	—	—	—		
	近海	新近海	—	—	—	—	—	—	—	
		新小型	1	1	1	1	—	—	4	許可
	小計	1	1	1	1	—	—	4	〃	
合計	1	1	1	1	—	—	4	〃		
小型捕鯨業		—	—	—	—	2	—	2	〃	
沿岸まぐろはえ縄漁業		—	1	—	—	—	2	3	届出	



底びき網漁業

船びき網漁業



定置網漁業

### 3 漁業生産(平成27年)

#### (1) 漁業・養殖業生産量

平成27年の海面漁業・養殖業生産量は25,746トンで、前年に比べ746トン(3%)増加した。  
 漁業種類別では船びき網で532トン(22%)、大型定置網で273トン(10%)、小型底びき網で164トン(6%)、かつお一本釣りで126トン(67%)、減少した一方で、中・小型まき網で2,198トン(23%)、海面養殖業で201トン(8%)増加したことなどによる。  
 魚種別では、しらすが533トン(23%)、たちうおが337トン(32%)、まあじが135トン(9%)減少した一方で、さば類が1,383トン(35%)、うるめいわしが535トン(34%)、むろあじ類が115トン(5%)増加したことなどによる。  
 平成27年の内水面漁業・養殖業生産量は998トンで、前年に比べ12トン(1%)減少した。

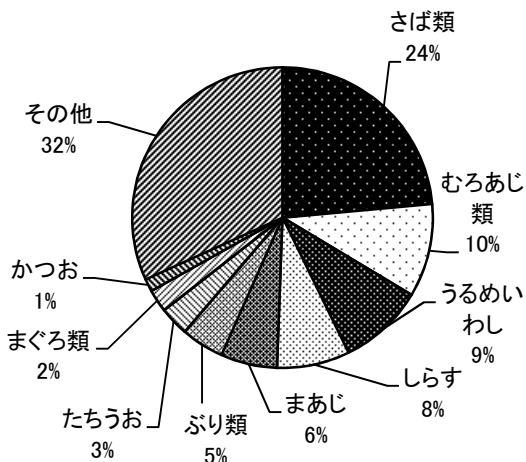
項目	単位：t			
	平成27年	26年	対前年差	対前年増減率 %
漁業・養殖業合計	26,744	26,010	734	2.8
海面漁業・養殖業計	25,746	25,000	746	3.0
海面漁業	22,901	22,356	545	2.4
海面養殖業	2,845	2,644	201	7.6
内水面漁業・養殖業	998	1,010	△ 12	△ 1.2
内水面漁業	7	6	1	16.7
内水面養殖業	991	1,004	△ 13	△ 1.3

#### (2) 漁業・養殖業産出額(海面)

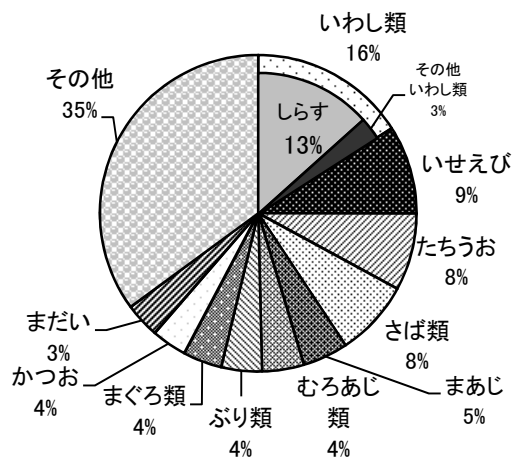
平成27年の海面漁業・養殖業産出額は160億3,200万円で、前年に比べ10億1,000万円(7%)増加した。  
 魚種別にみると、あじ類が2億2,800万円(21%)、たちうおが1億2,100万円(14%)減少した一方で、さば類が2億2,500万円(45%)、しらすが1億3,100万円(12%)、養殖くろまぐろが6億7,400万円(21%)増加したことなどによる。

項目	単位：百万円			
	平成27年	26年	対前年差	対前年増減率 %
海面漁業・養殖業計	16,032	15,022	1,010	6.7
海面漁業	9,351	9,352	△ 1	△ 0.0
海面養殖業	6,681	5,670	1,011	17.8

海面漁業魚種別漁獲量の構成比(H27)



海面漁業魚種別産出額の構成比(H27)



(1) 漁業・養殖業部門別生産量

(単位：t)

年次・海区	合計	海面					内水面 漁業・ 養殖業
		計	遠洋漁業	沖合漁業	沿岸漁業	養殖業	
全国 H27	4,688,274	4,619,021	358,173	2,110,494	1,081,336	1,069,017	69,253
H18	44,044	42,867	⋮	21,853	⋮	4,064	1,177
19	39,023	37,953		34,001		3,952	1,070
20	38,427	37,157		33,154		4,003	1,270
21	31,529	30,429		27,323		3,106	1,100
22	32,738	31,584		28,598		2,986	1,154
23	31,305	30,231		28,361		1,871	1,074
24	27,409	26,445		24,896		1,549	964
25	26,372	25,391		23,638		1,753	981
26	26,010	25,000		22,356		2,644	1,010
27	26,744	25,746		22,901		2,845	998
瀬戸内海区	-	7,569		7,470		99	-
太平洋南区	-	18,176		15,431		2,745	-

※漁船漁業には、漁船非使用漁業を含む。

※平成19年調査より稼働量調査が一部漁業に限定されたため部門別生産量の把握はなし。

(2) 主要海面漁業・養殖業種類別生産量

(単位：t)

年次	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
漁業種類										
合計	42,867	37,953	37,157	30,429	31,584	30,231	26,445	25,391	25,000	25,746
海面漁業計	38,803	34,001	33,154	27,323	28,598	28,361	24,896	23,638	22,356	22,901
小型底びき網	4,131	3,283	3,624	2,940	2,364	2,747	2,894	2,520	2,707	2,543
中・小型1そうまき巾着網	8,822	16,791	15,476	11,852	13,891	13,276	9,772	9,991	9,474	11,672
中・小型2そうまき巾着網	9,806									
その他のまき網	⋮									
敷網	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	73	13	70	⋮	⋮
刺網	710	566	526	612	599	441	425	395	445	378
かつお一本釣	270	249	393	641	⋮	395	270	350	187	61
ひき縄釣	1,520	1,310	1,755	1,710	2,030	880	1,735	1,196	402	422
その他の釣	1,134	1,259	1,134	1,055	813	920	808	671	639	634
まぐろはえ縄	⋮	⋮	⋮	⋮	902	871	793	680	525	465
その他のはえ縄	139	161	185	152	173	175	176	171	154	⋮
大型定置網	2,847	2,488	2,610	2,221	2,667	2,762	2,623	2,688	2,840	2,567
小型定置網	768	861	1,040	767	756	852	757	639	⋮	640
地びき網	123	1,854	1,941	1,248	1,109	979	943	750	786	734
その他の敷網	⋮									
その他の網漁業	1									
船びき網(ひき回し)	3,737	2,039	2,318	1,703	2,277	2,931	2,882	2,449	2,342	1,810
船びき網(ひき寄せ)	⋮									
採貝	73	810	719	731	278	748	452	764	797	533
採藻	782									
その他の漁業	463	477	372	459	253	312	354	305	241	233
海面養殖業計	4,064	3,952	4,003	3,106	2,986	1,871	1,549	1,753	2,644	2,845
ぶり類	593	476	295	223	248	108	42	44	51	59
まだい	3,025	2,752	2,904	2,079	1,827	1,221	1,175	1,257	1,496	1,561
くろまぐろ	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	89	203	867	1,045
その他の魚類	⋮	530	613	628	709	402	100	110	111	106
貝類	16	31	46	43	43	43	44	30	22	13
海藻類	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

(3) 海面漁業魚種別漁獲量

(単位：t)

魚種	年次	H18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
魚類	みなまぐろ	107	χ	-	-	-	-	-	-	-	-
	くろまぐろ	110	113	118	89	63	60	94	203	51	20
	びんなが	656	795	564	825	716	663	701	463	340	349
	めばち	449	478	160	127	94	χ	79	49	68	23
	きはだ	297	405	263	305	282	432	284	249	162	164
	その他のまぐろ類	0	χ	4	1	2	χ	0	0	-	-
	まかじき	49	44	18	30	29	22	30	30	19	11
	めかじき	47	63	23	24	15	12	10	9	χ	χ
	くろかじき類	38	71	42	50	48	32	15	31	χ	χ
	その他のかじき類	2	1	2	3	2	1	1	1	2	0
	かつお	1,214	879	1,605	1,756	1,942	715	1,475	1,158	375	313
	そうだがつお類	400	226	498	224	511	186	711	369	272	168
	さめ	109	92	77	75	57	97	73	78	69	113
	このしろ	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0
	まいわし	970	1,183	695	507	787	1,319	720	932	1,899	1,839
	うるめいわし	1,474	2,053	1,143	1,007	1,178	971	1,307	1,966	1,568	2,103
	かたくちいわし	428	356	159	328	206	347	231	194	224	323
	しら	2,859	2,030	1,955	1,448	2,160	1,925	2,794	2,408	2,327	1,794
	まあじ	4,014	4,264	3,674	2,884	1,991	2,017	1,118	1,446	1,525	1,390
	むろあじ類	3,267	4,979	4,646	3,217	2,351	3,536	2,530	2,429	2,181	2,296
	さば類	11,282	6,876	8,494	6,430	9,229	7,517	5,938	4,984	4,012	5,395
	さんま	850	148	444	94	143	180	128	120	132	44
	ぶり類	519	767	661	604	941	966	762	825	876	1055
	ひらめ	64	36	39	39	33	45	29	30	42	28
	かれい類	112	98	133	80	78	65	73	67	76	65
	にぎす類	27	42	39	37	40	11	29	-	-	-
	あなご類	26	19	11	11	9	7	5	5	7	4
	たちうお	2,573	2,171	1,921	1,835	1,068	1,107	1,106	966	1,065	728
	まだい	312	245	228	243	253	311	269	199	287	306
	ちだい・きだい	54	48	100	80	77	116	132	125	157	201
	くろだい・へだい	37	35	73	64	54	74	66	52	56	68
	いさき	207	275	213	240	216	229	208	196	186	207
さわら類	93	110	82	141	110	121	145	156	249	292	
すずき類	19	31	20	20	24	34	40	21	31	21	
いかなご	897	16	125	-	25	530	17	-	0	0	
あまだい類	5	6	3	3	4	3	3	3	4	5	
ふぐ	83	103	91	64	101	97	133	115	145	148	
その他の魚類	2,423	2,222	2,233	1,868	2,280	2,113	1,809	1,787	2,216	2,033	
計		36,074	31,301	30,553	24,754	27,117	25,956	23,066	21,666	20,648	21,523
その他の水産動物	いせえび	138	152	157	175	171	166	169	161	170	166
	くるまえび	3	4	2	1	1	1	1	1	1	1
	その他のえび類	175	198	182	179	155	157	221	162	91	75
	がざみ類	4	5	2	1	1	1	2	2	2	2
	その他のかに類	8	7	6	6	6	4	5	5	5	4
	するめいか	272	402	291	313	215	238	228	229	180	84
	こういか類	406	614	838	685	385	765	387	325	211	249
	その他のいか類	370									
たこ類	98	92	75	94	50	64	44	62	45	35	
うなぎ類	10	11	12	9	10	10	13	12	12	11	
その他の水産動物類	31	34	44	38	40	54	45	37	37	χ	
計		1,515	1,528	1,610	1,501	1,034	1,462	1,115	996	753	χ
海産ほ乳類		354	368	271	341	174	201	265	215	162	χ
貝類	あわび類	14	21	28	21	17	13	11	12	12	10
	さざえ	15	20	23	24	19	16	20	33	25	18
	あさり類	0	1	1	1	0	0	0	-	-	-
	その他の貝類	46	55	46	52	48	63	29	40	55	38
計		76	97	97	98	84	91	61	85	92	65
海藻類	わかめ類	45									
	ひじき	442	715	623	630	191	652	389	676	703	471
	てんぐさ類	136									
	その他の海藻類	160									
計		782	715	623	630	191	652	389	676	703	471
合計		38,803	34,001	33,154	27,323	28,598	28,361	24,896	23,638	22,356	22,901

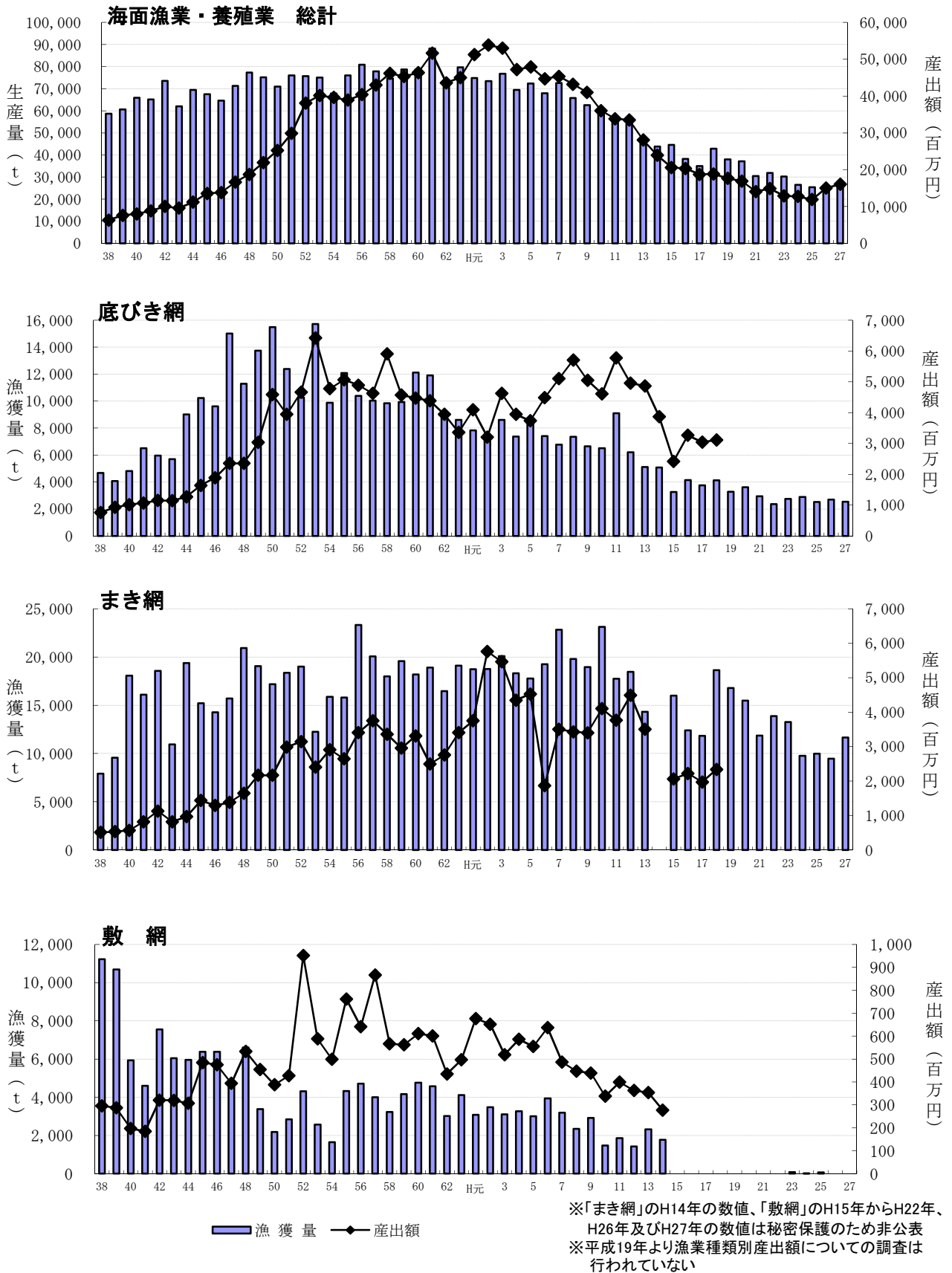
※その他の魚類は、めめけ類、にべぐち類、えそ類、いぼだい、はも、えい類、しいら類、とびうお類、ぼら類を含む。

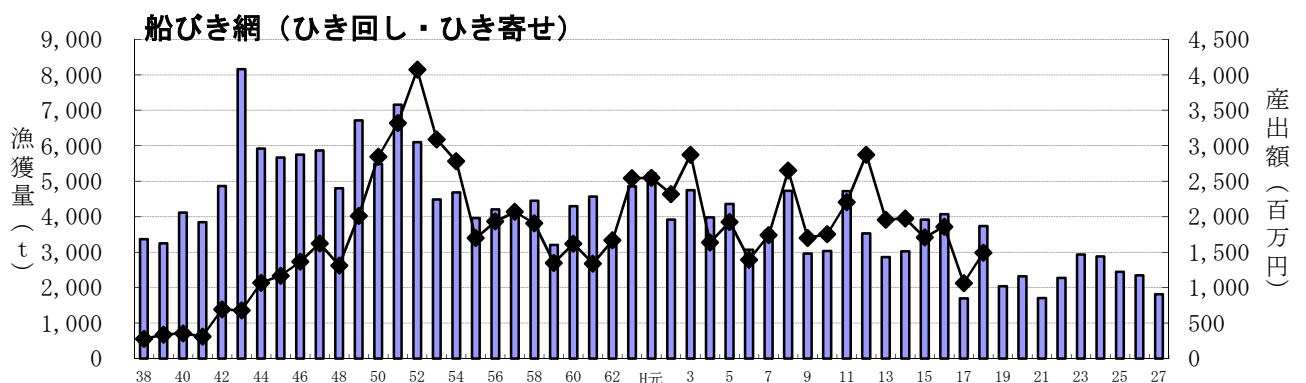
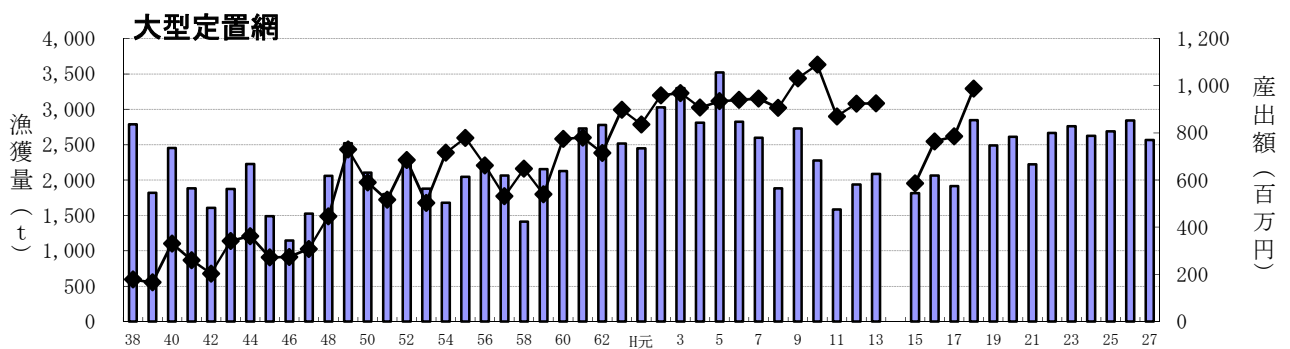
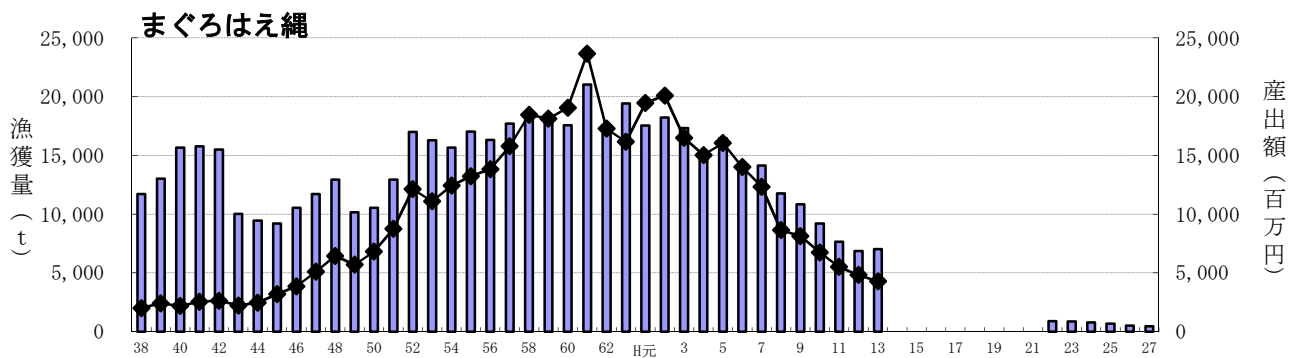
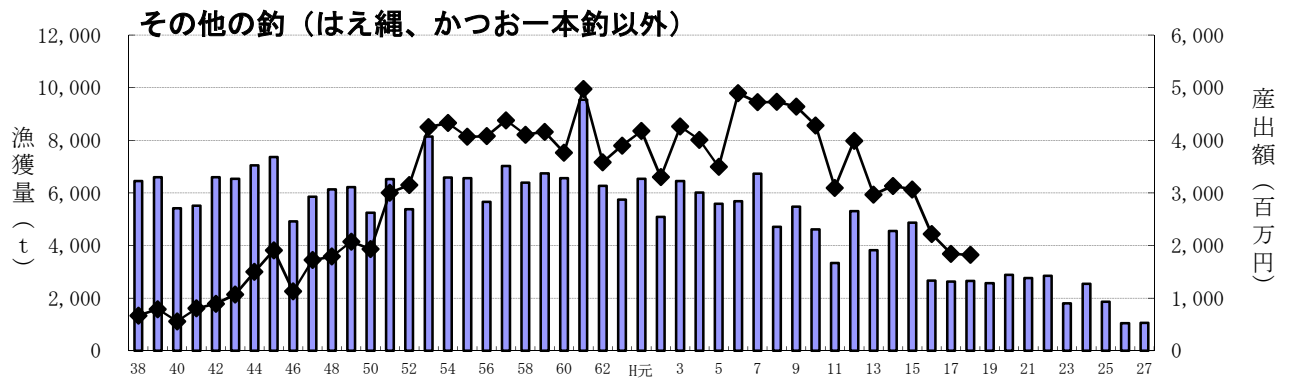
※その他の水産動物類は、なまこ類を含む。

※その他の海藻類にはひじき、わかめ類、てんぐさ類を含む。



## ア 主な漁業種類別漁獲量・産出額の推移





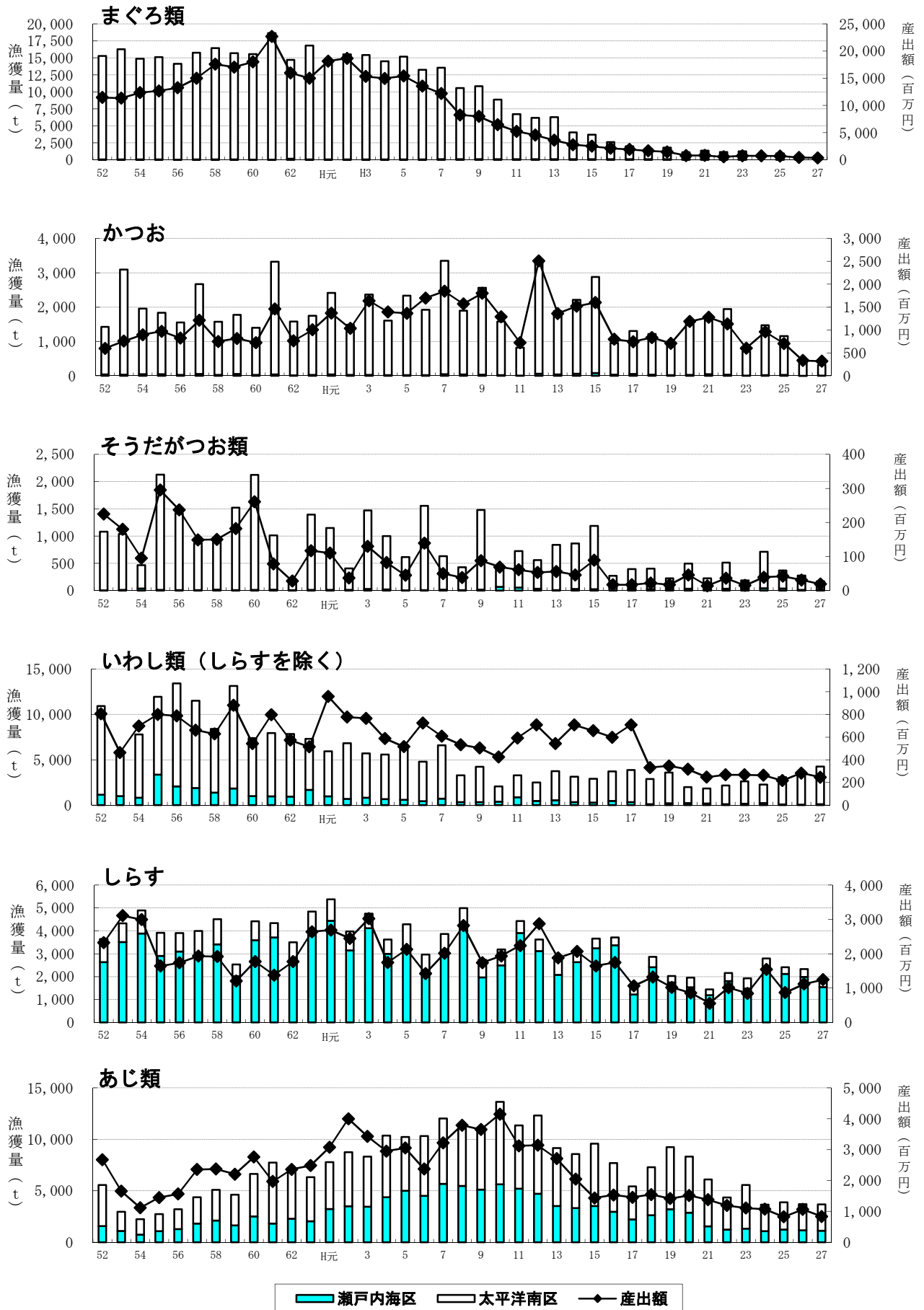
■ 漁獲量 ◆ 産出額

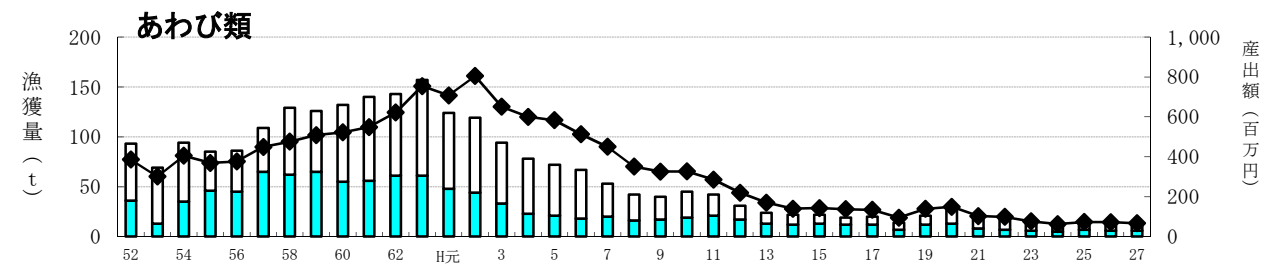
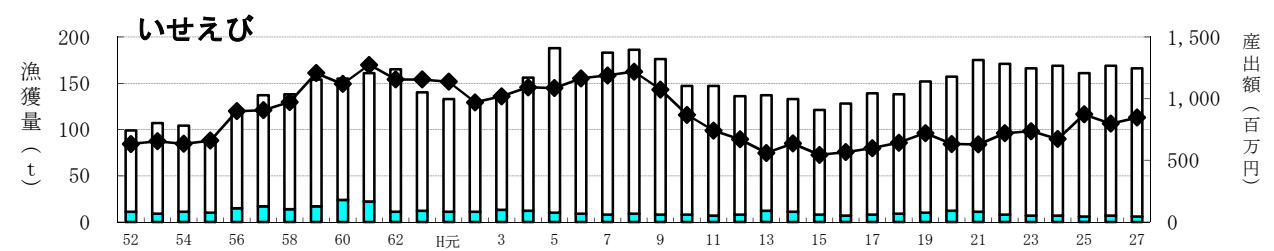
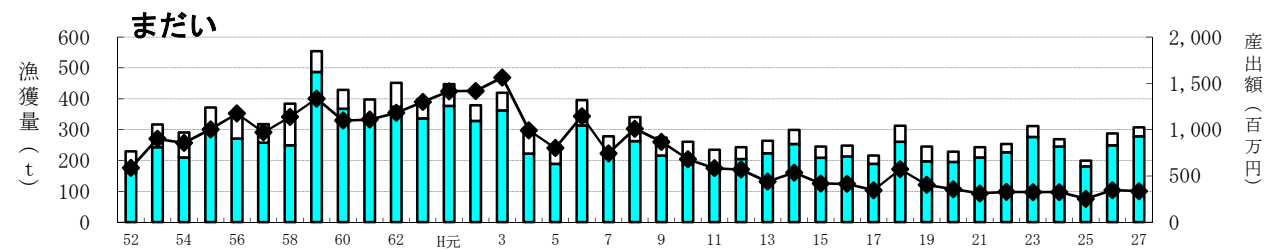
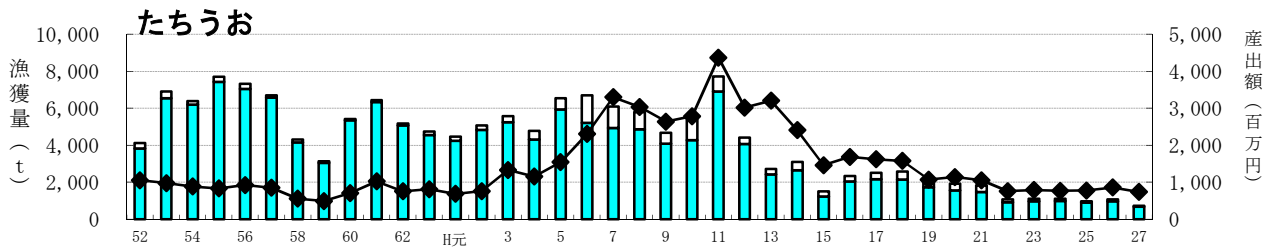
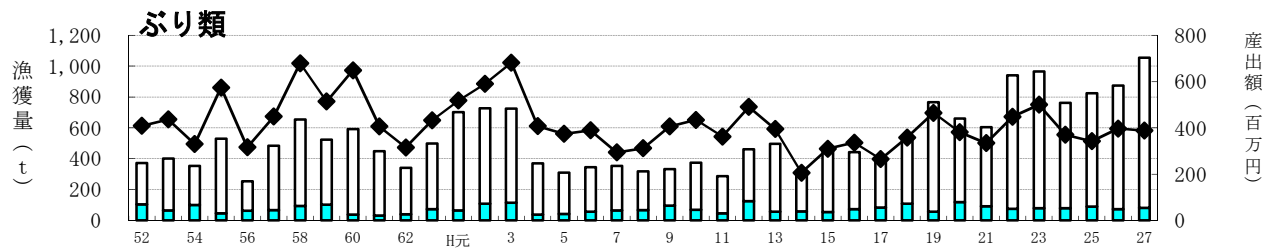
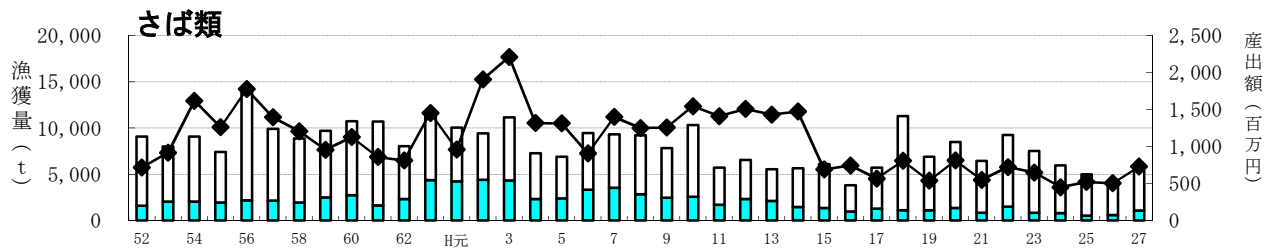
※「まぐろはえ縄」のH14からH21の数値、「大型定置網」のH14の数値は秘密保護のため非公表

※「船びき網」はH14以降「ひき寄せ船びき網」については非公表のため、「ひき回し船びき網」のみの数値

※平成19年より漁業種類別産出額についての調査は行われていない

# イ 主な魚種別漁獲量・産出額の推移





**(4) 海面養殖業収穫量**

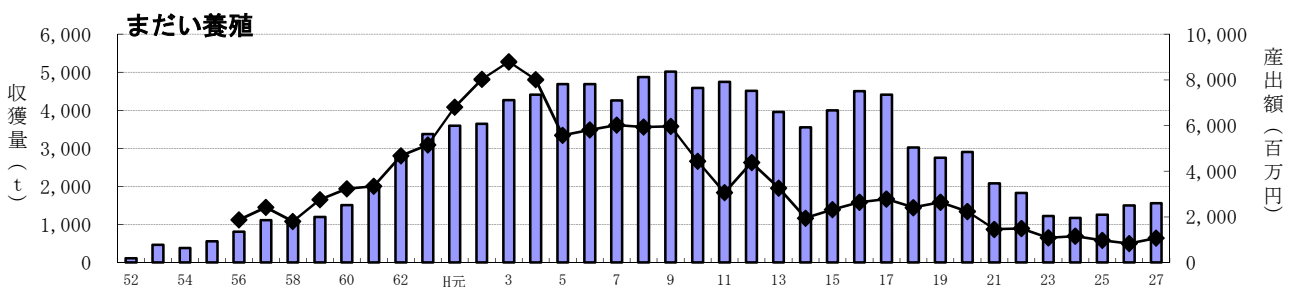
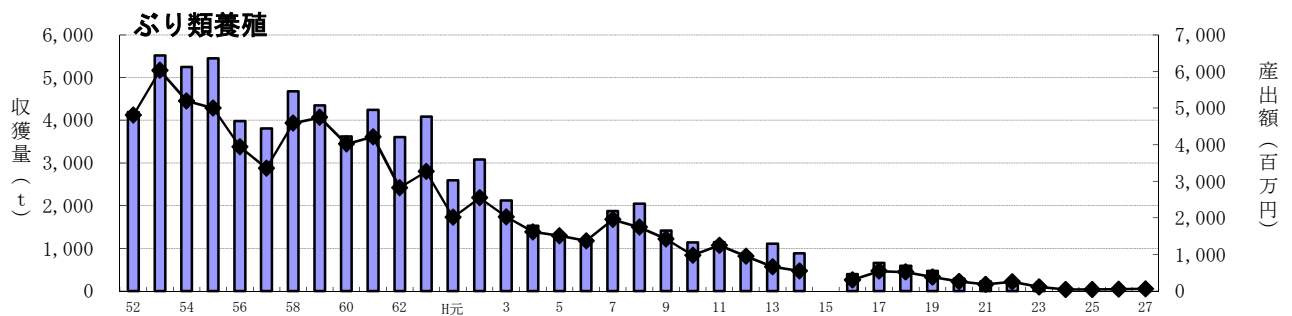
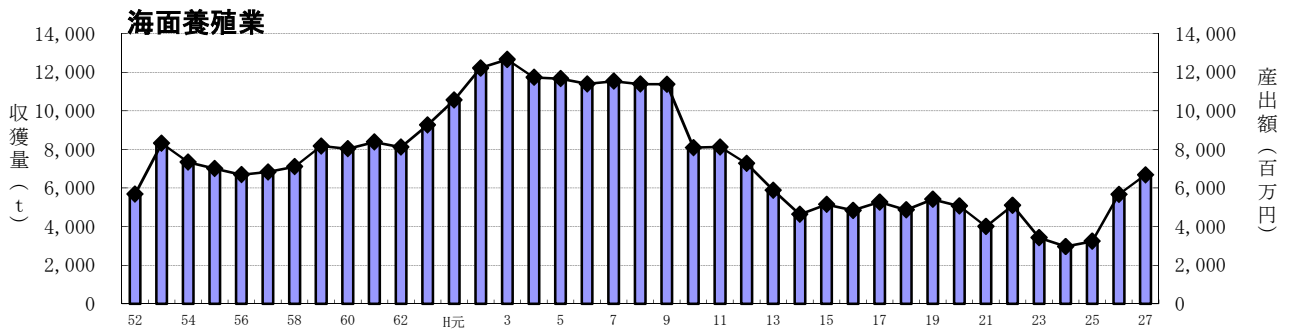
(経営体数：実数、収穫量：t)

年次区分 魚種	H18		19		20		21		22		23		24		25		26		27	
	経営体	収穫量	経営体	収穫量	経営体	収穫量	経営体	収穫量	経営体	収穫量	経営体	収穫量	経営体	収穫量	経営体	収穫量	経営体	収穫量	経営体	収穫量
ぶり類	10	593	...	476	4	295	...	223	...	248	...	108	...	42	2	44	...	51	...	59
まだい	36	3,025	...	2,752	29	2,904	...	2,079	...	1,827	...	1,221	...	1,175	11	1,257	...	1,496	...	1,561
くろまぐろ	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	89	4	203	...	867	...	1,045
その他の魚類	15	χ	...	530	...	613	...	628	...	709	...	402	...	189	-	110	...	111	...	106
その他の貝類	5	16	...	31	...	46	...	43	...	43	...	43	...	44	3	30	...	22	...	13
のり類	1	χ	...	χ	9	-	...	-	...	-	...	χ	...	-	-	χ	...	-	...	-
わかめ類	37	85	...	73	30	79	...	87	...	χ	...	χ	...	χ	15	χ	...	χ	...	χ
真珠	1	χ	...	χ	2	χ	...	χ	...	-	...	-	...	-	-	-	...	-	...	-
合計		4,064		3,952		4,003		3,106		2,986		1,871		1,549		1,753		2,644		2,845

注：平成19年より海面養殖業の経営体数は調査中止となった。平成20年、平成25年は「漁業センサス」より

注：平成20年 その他の魚類はひらめ、しまあじを含み、まあじ、ふぐ類を含まない

注：平成20年より貝類はかき類を含まない



収穫量
  産出額

※「ぶり類養殖」のH15年の数値は秘密保護のため非公表  
 ※「まだい養殖」の産出額についてはH5年の数値以降、種苗養殖を除いた数値である

**(5) 内水面漁業・養殖業生産量 (平成27年)**

内水面漁業・養殖業生産量は、前年に比べ12トン(1%)減少して998トンとなった。

内水面漁業漁獲量は、1トン(17%)増加して7トンとなった。

内水面養殖業収獲量は、13トン(1%)減少して991トンで、全国9位となっている。

内訳は養殖アユが8トン(1%)減少し、984トンとなっている。

**ア 内水面漁業漁獲量**

(単位：t)

年次・水系	漁獲量								
	計	あゆ	こい	ふな	うなぎ	その他魚類	貝類	その他の水産動植物類	藻類
全国 H27	32,917	2,407	227	555	70	16,445	12,697	516	...
和歌山 H18	9	7	-	-	0	0	-	1	...
19	7	5	-	-	0	0	-	1	...
20	6	5	-	-	0	0	-	1	...
21	8	6	-	-	0	0	-	1	...
22	6	5	-	-	0	0	-	1	...
23	6	5	-	-	0	0	-	1	...
24	6	4	-	-	0	0	-	1	...
25	5	4	-	-	0	0	-	1	...
26	6	5	-	-	0	0	-	1	...
27	7	5	-	-	0	0	-	1	...
紀ノ川	2	2	-	-	0	0	-	-	...
有田川	×	×	×	×	×	×	×	×	...
日高川	×	×	×	×	×	×	×	×	...
熊野川	×	×	×	×	×	×	×	×	...

注1: 主要4河川の漁獲量である。

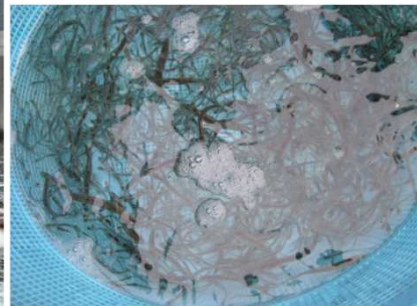
注2: 平成18年調査より、内水面漁業の調査範囲を、主要4河川において、販売を目的として漁獲された量のみとした。遊漁者(レクリエーションを主な目的として水産動植物を採捕するもの)による採捕量は含まれない。

**イ 内水面養殖業収獲量**

(経営体数：実数、収獲量：t)

年次区分 魚種	H18		19		20		21		22		23		24		25		26		27	
	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量	経営体	収獲量
あゆ	...	1,143	...	1,038	...	1,243	...	1,074	...	1,131	...	1,056	...	948	...	966	...	992	...	984
ます類	...	×	...	×	...	×	...	×	...	×	...	×	...	×	...	×	...	×	...	×
うなぎ	...	×	...	×	...	×	...	×	...	×	...	×	...	×	...	×	...	×	...	×
その他の養殖	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
合計		1,168		1,063		1,264		1,092		1,148		1,068		958		976		1,004		991

注：平成18年より内水面養殖業の経営体数は調査中止となった。



海産稚あゆの受け渡し(日高町)

## (6) 漁業産出額

### 魚種別産出額

区 分	合計	海面漁業計	魚 類					
			計	ま ぐ ろ 類				
				計	くろまぐろ	みなみまぐろ	びんなが	めばち
全国 H 27	14,878	10,009	7,010	1,324	151	78	204	546
和歌山 H 18	18,846	13,984	11,563	1,661	361	373	264	433
19	17,644	12,226	9,964	1,478	189	χ	252	648
20	16,918	11,855	9,725	808	174	-	215	197
21	14,053	10,044	8,196	815	103	-	333	136
22	14,871	9,768	8,135	560	80	-	245	69
23	12,919	9,492	7,633	752	105	-	241	χ
24	12,731	9,760	8,117	726	125	-	243	116
25	11,915	8,674	6,759	722	286	-	160	64
26	15,022	9,352	7,021	438	76	-	150	75
和歌山 H 27	<b>16,032</b>	<b>9,351</b>	<b>6,999</b>	<b>372</b>	<b>59</b>	-	<b>146</b>	<b>30</b>
瀬戸内海区	4,338	4,284	3,724	78	18	-	37	6
太平洋南区	11,694	5,067	3,275	295	41	-	109	25

区 分	魚 類							
	さめ類	このしろ	い わ し 類					あじ類
			計	まいわし	うるめいわし	かたくちいわし	しらす	
全国 H 27	52	5	654	180	54	140	280	358
和歌山 H 18	27	0	1,650	160	153	19	1,318	1,546
19	33	0	1,365	126	203	17	1,019	1,416
20	20	0	1,176	146	161	9	860	1,515
21	16	0	805	95	135	17	558	1,377
22	15	0	1,282	151	105	11	1,014	1,192
23	20	0	1,113	160	93	13	846	1,109
24	15	0	1,807	146	100	18	1,544	1,070
25	16	0	1,086	77	126	14	869	823
26	16	0	1,399	133	137	13	1,116	1,062
和歌山 H 27	<b>23</b>	<b>0</b>	<b>1,493</b>	<b>102</b>	<b>123</b>	<b>20</b>	<b>1,247</b>	<b>834</b>
瀬戸内海区	23	0	1,086	17	0	5	1,064	292
太平洋南区	0	-	407	86	123	15	183	542



まぐろ



しらす

単位 { 全国： 億円  
和歌山：100万円

魚 類											区分	
まぐろ類		かじき類					かつお類					
きはだ	その他のまぐろ類	計	まかじき	めかじき	くろかじき類	その他のかじき類	計	かつお	そうだがつお類			
340	6	107	13	75	14	5	666	648	18	全国	2015	
229	0	93	41	37	15	0	857	836	22		2006	
333	χ	105	28	49	28	1	723	706	17		2007	
220	2	47	12	20	15	1	1,232	1,185	46		2008	
242	0	60	18	17	24	1	1,290	1,276	14		2009	
175	1	38	15	7	16	1	1,165	1,130	35		2010	
286	χ	37	15	10	12	0	619	604	15		2011	
242	0	34	19	8	7	0	999	960	39		2012	
212	0	34	16	7	11	0	746	704	42		2013	
137	-	35	15	χ	χ	0	365	334	31		2014	
<b>137</b>	<b>-</b>	<b>14</b>	<b>6</b>	<b>χ</b>	<b>χ</b>	<b>0</b>	<b>338</b>	<b>319</b>	<b>19</b>		<b>2015</b>	
17	-	4	χ	χ	χ	0	14	9	5	瀬戸内海区		
120	-	10	χ	χ	3	0	324	310	14	太平洋南区		

あじ類										区分	
あじ類		さば類	さんま	ぶり類	ひらめ	かれい類	にぎす類	あなご類	たちうお		
まあじ	むろあじ類										
334	24	494	253	344	76	184	9	37	59	全国	2015
1,042	504	806	42	358	133	112	9	30	1,575		2006
953	463	538	21	465	79	110	15	19	1,070		2007
783	731	809	35	381	85	160	11	14	1,141		2008
841	535	549	21	334	73	128	10	15	1,055		2009
695	497	722	18	448	61	133	10	11	756		2010
500	609	647	29	500	76	105	4	8	788		2011
594	477	449	26	370	57	101	7	6	769		2012
449	374	521	16	342	53	114	-	5	776		2013
634	428	502	24	397	69	94	-	7	859		2014
<b>435</b>	<b>399</b>	<b>727</b>	<b>8</b>	<b>388</b>	<b>50</b>	<b>86</b>	<b>-</b>	<b>4</b>	<b>738</b>		<b>2015</b>
151	141	217	-	54	19	85	-	4	690	瀬戸内海区	
284	258	511	8	334	31	1	-	-	48	太平洋南区	



かつお



たちうお



魚種別産出額（つづき）

区 分	魚 類							
	計	た い 類			いさき	さわら類	すずき類	いかなご
		まだい	ちだい・ きだい	くろだい・ へだい				
全国 H 27	153	113	26	13	33	104	43	53
和歌山 H 18	628	572	41	15	194	110	17	178
19	452	402	37	14	297	149	22	9
20	422	355	52	15	168	94	17	57
21	374	311	43	20	167	120	13	-
22	386	326	41	18	172	103	15	17
23	396	324	49	24	172	95	16	182
24	404	325	59	21	149	153	15	8
25	320	251	54	15	154	149	11	-
26	431	345	57	29	154	213	14	0
和歌山 H 27	<b>428</b>	<b>334</b>	<b>77</b>	<b>18</b>	<b>160</b>	<b>302</b>	<b>10</b>	<b>0</b>
瀬戸内海区	389	302	71	15	51	67	7	0
太平洋南区	40	32	5	3	109	235	3	-

区 分	貝 類					い か 類		
	計	あわび類	さざえ	あさり類	その他の貝類	計	するめいか	その他の いか類
全国 H 27	964	99	45	49	771	655	396	259
和歌山 H 18	232	95	19	0	119	712	68	645
19	289	139	21	0	130	509	97	412
20	287	149	18	0	121	556	64	491
21	241	103	18	0	119	426	67	360
22	220	99	14	0	106	328	52	276
23	216	76	13	0	128	391	59	332
24	144	63	15	0	66	331	59	273
25	186	73	24	-	90	313	55	257
26	196	72	15	-	109	240	48	192
和歌山 H 27	<b>164</b>	<b>67</b>	<b>14</b>	<b>-</b>	<b>84</b>	<b>263</b>	<b>24</b>	<b>239</b>
瀬戸内海区	51	41	6	-	4	199	0	199
太平洋南区	113	26	8	-	80	64	23	40



まだい



いさき

単位 { 全国：億円  
和歌山：100万円

魚 類			え び 類				か に 類			区分
あまだい類	ふぐ類	その他の魚類	計	いせえび	くるま えび	その他の えび類	計	がざみ類	その他の かに類	
23	39	1,928	271	60	18	192	299	23	275	全国 2015
17	96	1,903	836	643	16	177	15	5	10	2006
18	64	1,517	905	721	21	164	11	5	6	2007
9	72	1,453	842	633	7	203	10	2	8	2008
11	62	899	782	629	5	148	8	1	7	2009
14	61	957	908	719	4	185	7	1	6	2010
8	66	891	891	737	4	150	7	1	6	2011
10	61	881	884	673	4	206	9	2	7	2012
12	49	809	1,073	872	7	195	7	2	6	2013
11	50	882	999	797	3	200	5	1	4	2014
<b>19</b>	<b>58</b>	<b>946</b>	<b>986</b>	<b>847</b>	<b>2</b>	<b>137</b>	<b>7</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>2015</b>
10	36	598	157	29	2	125	3	1	2	瀬戸内海区
8	22	348	830	818	0	11	4	2	2	太平洋南区

たこ類	うに類	海産 ほ乳類	その他の 水産動物	海藻類	海 面 養 殖					区分
					計	ぶり類	まだい	くろまぐろ	その他の 海面養殖	
194	117	8	252	238	4,869	1,201	439	441	2,788	全国 2015
122	10	189	22	283	4,862	520	2,408	...	1,902	2006
77	6	308	17	138	5,417	383	2,634	...	2,395	2007
68	7	128	23	209	5,063	259	2,230	...	2,569	2008
71	6	129	21	164	4,009	184	1,455	...	2,364	2009
50	12	22	19	67	5,102	251	1,489	...	χ	2010
55	12	46	27	213	3,427	115	1,078	...	χ	2011
44	10	82	20	118	2,971	40	1,158	326	χ	2012
59	7	62	18	189	3,241	42	975	767	2103	2013
52	7	75	548	208	5,670	49	831	3,277	1,513	2014
<b>43</b>	<b>9</b>	<b>χ</b>	<b>χ</b>	<b>148</b>	<b>6,681</b>	<b>60</b>	<b>1,070</b>	<b>3,951</b>	<b>1,600</b>	<b>2015</b>
36	4	χ	χ	16	54	χ	χ	-	χ	瀬戸内海区
7	6	101	535	132	6,628	χ	χ	3,951	χ	太平洋南区



いせえび

※その他の魚類には、めぬけ類、にべ・ぐち類、えそ類、いぼだい、はも、えい類、しいら類、とびうお類、ぼら類を含む。

※その他のいか類は、こういか類を含む。

※その他の水産動物は、なまこ類を含む。

※海藻類は、ひじき、わかめ類、てんぐさを含む。

※全国の海産ほ乳類は、捕鯨業を含む。

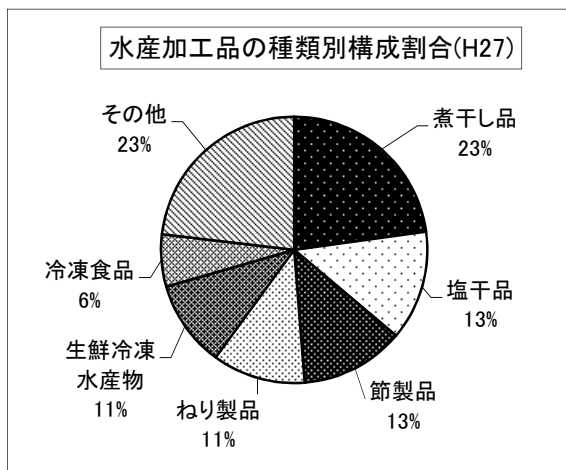
※全国のその他魚類は、たら類、ほっけ、きちじ、はたはたを含む。

## 4 水産加工

水産加工品の生産量(焼・味付のりを除く)は15,601トンで、前年に比べ1%増加した。(全国では3%の減少)

加工種類別の構成割合をみると、煮干し品3,556トン、塩干品2,085トン、節製品1,964トン、ねり製品1,760トンの順に多く、この4種類で生産量全体の約6割を占めている。

なお、煮干し品のうち「しらす干し」の生産量は3,541トンで、全国順位4位(全国シェア11%)である。



あじ塩干品の加工(比井崎漁協)

### (1) 水産加工品目別経営体数

年次	H9	10	11	12	13	14	15	16	17	20	25
品目											
実経営体数	225	218	213	208	204	201	197	188	184	175	157
ねり製品 (かまぼこ類)	43	42	39	38	34	33	35	34	33	30	23
生鮮冷凍水産物	16	17	16	12	12	18	25	17	16	16	4
冷凍食品	3	4	3	3	3	4	10	6	6	5	4
素干し品	11	12	14	13	13	13	31	17	18	13	2
塩干品	75	75	74	70	69	68	82	72	70	61	38
煮干し品	80	77	76	75	73	71	68	63	63	50	42
塩蔵品	4	4	3	4	3	4	18	4	4	5	1
節製品	44	45	45	42	44	43	33	30	29	28	17
その他の 水産加工品	34 +χ	38 +χ	43 +χ	40 +χ	43	41	40	49	54	47	22
焼・味付けのり	5	5	4	5	5	5	5	5	5	4	4

加工種類別経営体数はのべ経営体数

※平成18年より水産加工品目別経営体数については、調査対象から除外された。

※平成20年以降は、「漁業センサス」流通加工業における主とする加工種類別工場数より

(2) 水産加工品目別生産量

単位：t

年次	※1 合計	ねり製品	生 鮮 冷 凍 水 産 物					
		計	計	まぐろ類	かつお類	いわし類	ま むろあじ類	さば類
全 国 H27	3,097,811	530,137	1,416,228	26,211	13,223	329,168	69,215	380,965
和歌山 H18	27,497	5,130	5,573	×	×	105	836	1,187
19	22,638	4,132	4,790	×	×	203	408	891
20	17,660	2,719	3,041	×	×	78	377	395
21	16,649	×	3,214	603	836	204	37	535
22	18,547	2,462	2,405	×	×	×	52	606
23	18,187	2,364	2,429	481	×	×	338	386
24	17,081	1,565	3,849	1,809	×	×	84	417
25	15,229	1,803	1,357	643	×	×	24	×
26	15,424	1,803	1,146	671	×	×	7	124
<b>27</b>	<b>15,601</b>	<b>1,760</b>	<b>1,642</b>	<b>1,083</b>	<b>×</b>	<b>×</b>	<b>3</b>	<b>117</b>

年次	生 鮮 冷 凍 水 産 物 (つづき)				冷 凍 食 品			素干し品
	さ ん ま い か 類	そ の 他 の 魚 類 ・ 水 産 動 物 類	す り 身	計	魚 介 類	そ の 他	計	
全 国 H27	80,105	59,255	408,817	49,269	258,481	129,977	128,504	13,558
和歌山 H18	458	211	1,104	—	2,299	×	×	80
19	16	159	468	—	2,241	×	×	61
20	60	197	932	—	1,579	×	×	56
21	5	195	799	—	3,090	1,533	1,557	81
22	×	×	×	—	2,019	×	×	53
23	10	×	×	—	1,235	446	789	59
24	20	273	×	—	977	459	518	46
25	×	184	187	—	1,088	766	322	53
26	8	198	98	—	1,147	818	329	69
<b>27</b>	<b>—</b>	<b>187</b>	<b>225</b>	<b>×</b>	<b>989</b>	<b>614</b>	<b>375</b>	<b>52</b>

年次	素 干 し 品			塩 干 品				
	す る め い か	い わ し	そ の 他	計	い わ し	あ じ	さ ん ま	さ ば
全 国 H27	8,007	693	4,858	164,566	12,933	32,286	17,245	28,080
和歌山 H18	59	×	×	4,215	744	1,282	1,196	×
19	43	×	×	4,959	962	1,861	1,312	×
20	39	×	×	3,656	609	1,267	1,298	42
21	60	2	19	3,107	345	940	1,222	33
22	47	×	×	2,942	368	897	1,128	×
23	59	×	×	2,492	471	479	1,032	56
24	×	×	×	1,996	175	536	943	×
25	48	×	×	2,168	233	518	1,045	52
26	64	×	×	2,110	196	542	1,024	51
<b>27</b>	<b>47</b>	<b>×</b>	<b>×</b>	<b>2,085</b>	<b>189</b>	<b>573</b>	<b>992</b>	<b>66</b>



塩干品・煮干し品

※1 は「焼・味付のり」を除く。

全国値については、食用加工品と生鮮冷凍水産物の生産量の合計である。

和歌山県の数値については、平成18年から平成21年、平成25年から平成27年のくん製品、平成21年のねり製品、平成25年の塩蔵品を除く。

単位：t

年次	塩干品(つづき)		煮 干 し 品				塩 蔵 品	
	そ の 他	計	い わ し	しらす干し	いかなご・ こうなご	そ の 他	計	い わ し
全 国 H27	74,022	63,342	24,651	32,088	3,193	3,410	184,655	1,078
和歌山 H18	×	3,020	79	2,725	180	36	261	—
19	×	3,328	70	3,098	124	36	324	—
20	440	3,571	9	3,440	90	32	364	—
21	567	3,752	8	3,744	—	—	423	—
22	×	4,465	×	4,379	×	—	436	—
23	×	4,182	×	3,670	×	—	360	—
24	×	3,627	×	3,352	×	—	402	—
25	×	3,613	5	3,595	5	9	×	×
26	×	3,599	8	3,579	4	8	423	×
27	926	3,556	7	3,541	2	6	371	—

年次	塩 蔵 品 (つづき)			節 製 品				
	さ ば	さんま	そ の 他	計	かつお節	か っ っ お な ま り 節	さ ば 節	そ の 他 の 類
全 国 H27	44,355	9,674	129,548	83,833	27,612	1,699	13,332	10,674
和歌山 H18	×	—	×	6,029	16	68	7	5,831
19	×	—	×	2,052	24	103	79	1,518
20	×	—	×	1,742	25	99	79	1,297
21	23	—	400	2,161	15	93	173	1,880
22	×	×	×	2,946	×	×	2,135	696
23	×	×	×	2,578	×	×	1,708	798
24	×	—	×	2,223	×	×	1,334	859
25	×	—	×	2,211	44	43	1,390	661
26	×	—	×	2,212	36	40	1,390	671
27	×	—	×	1,964	35	28	1,251	587

年次	節製品(つづき)		そ の 他 の 食 用 加 工 品		く ん 製 品	焼・味付のり (千 枚)
	け ず り 節	計	水 産 物 つ く だ 煮	そ の 他		
全 国 H27	30,516	376,536	77,040	299,496	6,475	7,284,166
和歌山 H18	107	890	232	658	×	22,113
19	328	751	90	661	×	21,708
20	242	932	70	862	×	20,593
21	—	821	60	761	×	21,846
22	—	805	55	750	14	22,033
23	—	2,458	52	2,406	30	21,347
24	—	2,367	54	2,313	29	20,830
25	73	2,937	43	2,894	×	18,563
26	75	2,915	45	2,870	×	17,124
27	63	3,182	58	3,124	×	15,488



しらす干し

## II 漁業振興施策

## 漁業振興施策

漁業経営の安定・合理化、漁村環境の整備を推進するため、平成28年度に実施した主要な事業は下記のとおりである。

### (1) 磯根漁場再生事業

アワビ、ヒジキ等の磯根漁場の回復を図るため、県単独事業として藻場造成・保全事業を12市町において合計事業費2,401万円で実施した。

### (2) 漁業経営構造改善事業

イセエビ資源等の増殖対策としてつきいそ（投石）事業を2町において5,599万円で、製氷貯氷施設整備事業を1市において19,332万円で、冷凍冷蔵施設整備事業を1町において1,221万円で、合計事業費26,153万円で実施した。

### (3) 水産基盤整備事業（漁場整備）

水産資源の維持増大、操業の効率化を図るため、表層型浮魚礁設置事業を1地区において13,822万円で、魚礁設置及び増殖場造成事業を1地区(1市)において1,667万円で、沿岸漁場の生産力回復を図る堆積物除去事業を1地区(2市)で955万円、合計事業費16,443万円で実施した。

### (4) 水産基盤整備事業等（漁港整備）

漁港の機能強化、漁村の環境整備を推進するため、漁港整備関係事業を合計事業費23億5,062万円で実施した。

### (5) 栽培漁業推進対策事業

主要水産資源の増殖を図るため、マダイ27.2万尾、ヒラメ32.8万尾、クエ6.6万尾、アワビ類47.4万個を沿岸各地に種苗放流した。

### (6) 内水面漁業振興対策事業

内水面漁業の振興を図るため、アユ35.5トン、アマゴ43.6万尾の種苗放流を実施するとともに、主要資源であるアユの自然増殖を促進する産卵場造成事業を実施した。

### (7) 金融対策事業

漁業者の設備投資や経営改善を円滑に推進するため、漁業近代化資金(漁業振興資金を含む)については26件、融資額7,653万円に対する利子補給を承認し、沿岸漁業改善資金については1件、108万円を貸し付けた。

## 和歌山県内での魚食普及活動

漁協女性部や県漁連、漁業士連絡協議会、各漁協、市町などが連携して実践



「魚の骨を知って楽しくおいしく食べよう」出張講座



漁業士連絡協議会による魚食普及活動



県漁連、漁協女性部による郷土料理の無料提供



漁業体験学習



(1) 磯根漁場再生事業

平成28年度磯根漁場再生事業

市町村名	事業内容	事業主体	工種	事業費 (千円)
和歌山市	アサリ資源の回復	和歌山市	食害防止ネット設置	3,000
由良町	カジメ・クロメ・アカモク場の造成	由良町漁業 振興協議会	海藻種苗設置等	756
日高町	ナマコ資源の回復	比井崎漁協	着定基質設置等	300
印南町	カジメ・ワカメ・ヒジキ場の造成	紀州日高漁協	母藻移植等	924
みなべ町	カジメ・ヒロメ場の造成	紀州日高漁協	母藻移植等	900
田辺市	ヒジキ・ヒロメ場の造成	新庄漁協	母藻移植等	1,996
	ナマコ資源の回復	和歌山南漁協	着定基質設置等	692
白浜町	クロメ・ヒロメ場の造成	白浜町	母藻移植等	2,300
すさみ町	テングサ場の造成	和歌山南漁協	母藻移植等	300
串本町	ヒジキ・カジメ場の造成	和歌山東漁協	磯掃除等	3,132
	テングサ場の造成	串本町	母藻移植等	3,600
	ヒジキ場の造成	和歌山東漁協	磯掃除等	900
那智勝浦町	カジメ場の造成	那智勝浦町	海藻種苗設置	1,500
	ヒジキ場の造成	和歌山東漁協	磯掃除等	932
太地町	ナマコ資源の回復	太地町漁協	着定基質設置等	375
	ヒジキ場の造成	太地町漁協	磯掃除等	600
	アワビ資源の回復	太地町漁協	着定基質設置等	600
新宮市	カジメ場の造成	新宮市	母藻移植等	1,200
合計				24,007



アサリ資源の回復(食害防止ネット設置)



ナマコ資源の回復(着定基質設置)



ヒジキ場の造成(磯掃除)



クロメ場の造成(母藻投入)

(2) 漁業経営構造改善事業

平成28年度漁業経営構造改善事業

事業名	事業主体	事業内容	事業費 (千円)
水産業競争力強化緊急施設整備事業	串本町	つきいそ（投石） 4,200m <sup>3</sup>	20,000
	紀州日高 漁業協同組合	製氷・貯氷施設の改築 製氷機：30 t / 日、貯氷庫：40 t	193,320
	那智勝浦町	つきいそ（投石） 11,650m <sup>3</sup>	35,989
		冷凍冷蔵施設整備（地盤調査）	12,214
合計			261,523

(3) 水産基盤整備事業（漁場整備）

平成28年度水産物供給基盤整備事業等

事業名	工種	地区名	事業主体	事業内容	事業費 (千円)
水産環境整備事業	表層型浮魚礁製作 中層型浮魚礁撤去	和歌山南部	県	表層型浮魚礁製作1基 中層型浮魚礁撤去3基	138,216
水産物供給基盤 整備事業	増殖場整備	和歌山	和歌山市	増殖礁13基 製作・設置	16,665
水域環境保全 創造事業	堆積物除去	和歌山北部	和歌山市	掃海 5.9km <sup>2</sup>	4,755
			有田市	掃海 6.2km <sup>2</sup>	4,794
合計					164,430



増殖礁設置



掃海（底曳網漁船による漁場堆積物除去）

沿岸漁場整備開発事業実施状況

区 分	事 業 名	件数	事業費(千円)	備 考
第1次沿整 (S51~56)	並型魚礁設置事業	29	180,600	
	大型魚礁設置事業	4	118,090	
	人工礁漁場造成事業	1	460,600	
	幼稚仔保育場造成事業	2	130,000	
	大規模増殖場開発事業	1	400,000	
	漁場造成事業	1	328,740	
	浅海漁場開発事業	1	860,000	沿構から継続
	計	39	2,478,030	
第2次沿整 (S57~62)	並型魚礁設置事業	22	164,190	
	大型魚礁設置事業	4	129,219	
	人工礁漁場造成事業	2	621,450	
	幼稚仔保育場造成事業	1	34,190	第1次沿整から継続1件
	小規模増殖場造成事業	4	613,930	
	大規模増殖場造成事業	1	337,000	
	海域礁設置事業	3	1,257,820	
	磯根漁場造成事業	4	848,300	
計	41	4,006,099		
第3次沿整 (S63~H5)	並型魚礁設置事業	32	322,892	
	大型魚礁設置事業	8	432,870	
	人工礁漁場造成事業	3	781,600	第2次沿整から継続1件
	地先型増殖場造成事業	9	1,191,600	
	広域型増殖場造成事業	2	246,200	
	小規模増殖場造成事業	1	39,210	第2次沿整から継続1件
	大規模増殖場造成事業	1	153,058	第2次沿整から継続1件
	海域礁設置事業	2	808,000	第2次沿整から継続2件
	磯根漁場造成事業	3	472,780	第2次沿整から継続3件
	小規模漁場保全事業	1	10,000	
	計	62	4,458,210	
第4次沿整 (H6~13)	並型魚礁設置事業	20	382,880	
	大型魚礁設置事業	10	525,652	
	人工礁漁場造成事業	5	1,999,491	第3次沿整から継続2件
	地先型増殖場造成事業	12	792,790	第3次沿整から継続2件
	広域型増殖場造成事業	1	65,050	
	小規模漁場保全事業	8	80,000	
	大規模漁場保全事業	1	305,000	
	計	57	4,150,863	

区 分	事 業 名	件数	事業費(千円)	備 考
水産基盤整備 (H14~)	広域漁場整備事業	2	447,589	第4次沿整から継続1件
	漁港漁場機能高度化事業	4	222,966	
	漁港漁場機能高度化統合補助事業	3	113,300	第4次沿整から継続1件
	水域環境保全創造事業	10	297,288	
	漁村再生交付金	8	398,267	
	地域水産物供給基盤整備事業	10	490,001	
	水産環境整備事業	4	798,440	

#### (4) 水産基盤整備事業等（漁港整備）

##### 平成27年度漁港関係整備事業

事業名	港数	事業費（千円）	
漁港整備事業	水産流通基盤整備事業	3	1,010,238
	水産物供給基盤機能保全事業	12	311,100
	水産生産基盤整備事業	2	104,999
	漁港施設機能強化事業	5	316,074
	漁村再生交付金	1	167,150
	計	23	1,909,561
漁業集落環境整備事業	1	91,400	
海岸整備事業	海岸保全施設整備事業	9	194,056
	海岸環境整備事業	1	104,905
	計	10	298,961
漁港維持修繕事業	7	50,700	
合計	41	2,350,622	

##### 漁港関係整備事業の概要

事業名	事業の内容	整備できる施設
水産流通基盤整備事業	漁港施設の新設、改良、補修等を行う事業のうち、計画規模が大きい整備	防波堤、護岸、航路、泊地、物揚場、船揚場、道路、用地等
水産物供給基盤機能保全事業	漁港施設の既存ストックの老朽化対策を行う整備	同上
水産生産基盤整備事業	漁港施設の新設、改良、補修等を行う事業のうち、大きな規模の漁港で行う整備	同上
漁港施設機能強化事業	漁港の既存施設の耐震診断・改良を行う整備	防波堤、護岸、物揚場、岸壁、道路、用地等
漁業集落環境整備事業	漁港の背後集落の生活環境の改善を図る事業	漁業集落道、上下水道、緑地、広場、防災安全施設等
海岸保全施設整備事業	高潮・波浪・津波等による被害から、又は、海岸侵食から守るため、漁港内の海岸保全施設の新設・改良を行う事業	堤防、護岸、離岸堤等
海岸環境整備事業	海岸保全施設の整備に併せて、豊かで潤いのある海岸環境の整備を行う事業	緩傾斜護岸、養浜、緑地、広場等
漁港維持修繕事業	漁港施設の小規模な維持修繕を行う事業	防波堤、護岸、航路、泊地、物揚場、船揚場、道路、用地等

(5) 栽培漁業推進対策事業

ア 種苗生産

(単位：千尾・千個)

年度 魚種	H19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
マダイ	429	459	546	424	300	280	290	285	290	310
ヒラメ	414	338	503	402	525	387	447	402	400	410
イサキ	320	423	388	350	275	245	265	265	265	375
アワビ類	366	463	388	336	351	338	375	575	360	467
オニオコゼ	135	200	99	90	45	109	136	71	148	-
クエ	-	-	-	-	34	90	100	52	78	78
カサゴ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	223

イ 放流

(単位：千尾・千個)

年度 魚種	H19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
マダイ	317	379	339	264	257	257	273	271	266	272
ヒラメ	307	285	297	254	275	301	244	272	332	328
イサキ	288	230	343	263	552	473	529	528	466	600
クルマエビ	310	300	-	-	-	-	-	-	-	-
アワビ類	326	209	183	220	215	258	226	367	388	474
オニオコゼ	37	43	48	45	32	79	123	49	98	-
クエ	6	7	7	8	17	52	28	33	51	66
カサゴ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



ヒラメの稚魚放流（那智勝浦町）

(6) 内水面漁業振興対策事業

ア 種苗放流事業実施状況

魚種	年度	H19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
アユ(kg)		58,081	50,732	43,295	44,837	48,806	44,649	43,476	42,332	39,372	35,483
アマゴ(千尾)		531	642	607	629	694	531	447	476	461	436
ニジマス(千尾)		30	0	0	0	0	0	0	0	0	0

イ あゆ産卵場造成事業実施状況

(単位：m<sup>2</sup>)

漁協	年度	H19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
紀ノ川		30,000	30,000	30,000 (親魚放流300kg)	30,000	60,000 (親魚放流3,093kg)	50,000	50,000	30,000	30,000	30,000 (親魚放流1,500kg)
有田川		31,500	15,000	12,500	2,800	1,800	2,800	2,700	1,400	1,500	1,600
日高川		400 (親魚放流100kg)	20,000	20,000	20,000	-	400 (親魚放流392kg)	400 (親魚放流840kg)	400 (親魚放流400kg)	400 (親魚放流956kg)	400 (親魚放流1,000kg)
富田川		500 (親魚放流200kg)	2,500 (親魚放流200kg)	1,500 (親魚放流200kg)	1,500 (親魚放流300kg)	1,500	2,400 (親魚放流300kg)	2,400 (親魚放流250kg)	2,400 (親魚放流250kg)	2,400 (親魚放流200kg)	2,400 (親魚放流200kg)
日置川		11,000 (親魚放流400kg)	2,748 (親魚放流400kg)	5,472 (親魚放流400kg)	3,000 (親魚放流200kg)	3,000 (親魚放流200kg)	3,000 (親魚放流250kg)	1,200 (親魚放流250kg)	3,000 (親魚放流250kg)	3,000 (親魚放流250kg)	3,000 (親魚放流250kg)
計		73,400 (親魚放流700kg)	70,248 (親魚放流900kg)	69,472 (親魚放流900kg)	57,300 (親魚放流500kg)	66,300 (親魚放流3,293kg)	58,600 (親魚放流942kg)	56,700 (親魚放流1,340kg)	37,200 (親魚放流900kg)	37,300 (親魚放流1,406kg)	37,400 (親魚放流2,950kg)

ウ 内水面漁業振興対策施設整備事業実施状況

実施年度	事業主体	事業内容	事業費(千円)
S57	日高川漁協	アユ種苗生産供給施設 飼育施設 1,482m <sup>2</sup> 管理施設 154.5m <sup>2</sup>	160,700
S60	日高川漁協	アユ種苗中間育成施設 中間育成水槽 4面 給配水施設 電気設備	31,246
H7	日高川漁協	アユ種苗生産供給施設 飼育棟 978m <sup>2</sup> 機械棟 35m <sup>2</sup>	148,452
H11	日高川漁協	アマゴ種苗生産供給施設 飼育棟 151.5m <sup>2</sup> 飼育水槽 23個 魚病防疫検査施設 検査棟 107m <sup>2</sup> 生物実験機器一式	78,138
H17	日高川漁協	海水取水施設 取水井戸 300mm×15m 取水槽 9.0m <sup>3</sup> 取水ポンプ 濾過装置 車輦等消毒防疫施設 消毒ゲート設備、防風壁、靴替え室、場内器具等消毒通路	6,688
H23	日高川漁協	水産物加工処理施設 1F 219m <sup>2</sup> 2F 129m <sup>2</sup> 加工場、冷凍庫、冷風乾燥機、商品開発・研修室	104,680

## (7) プレミア和歌山認定品

和歌山県では、安全・安心を基本に、幅広い分野で優れた県産品を“和歌山らしさ”、“和歌山ならではの”の視点で推奨する「和歌山県優良県産品（プレミア和歌山）推奨制度」を制定しています。



### 平成20年度

しよらさん鯉  
紀州勝浦産生まぐろ  
紀州梅まだい(養殖)

### 平成21年度

加太のマダイ  
紀州紀ノ太刀  
すさみケンケン鯉  
紀州梅くえ(養殖)  
紀州梅本マグロ(養殖)  
大瀬戸の真鯛(養殖)  
大瀬戸の本九絵(養殖)

### 平成22年度

加太のタコ  
戸坂のハモ  
辰ヶ鱧  
紀州ひろめ  
紀州ひろめ(養殖)  
よしだ本鮪(養殖)

### 平成23年度

丈右衛門の鮎(養殖)

### 平成24年度

紀州仕立て鮎(養殖)



紀州仕立て鮎(養殖)

### 魚介類の水産加工品

平成20年度	10品目
平成21年度	5品目
平成22年度	9品目
平成23年度	13品目
平成24年度	8品目
平成25年度	11品目
平成26年度	3品目
平成27年度	4品目
平成28年度	4品目



紀州紀ノ太刀

### 海藻類の水産加工品

平成20年度	1品目
平成23年度	2品目
平成24年度	1品目
平成27年度	5品目

### 蒲鉾類

平成20年度	5品目
平成21年度	3品目
平成27年度	2品目
平成28年度	1品目



紀州ひろめ



紀州勝浦産生まぐろ

## (8) 金融対策事業

### 平成28年度貸付実績

(単位：千円)

		漁船 建造等	その他 個人施設	共同利用 施設	漁業振興 資金	経 営 改 善			生活改善	青年漁業者 養成確保	合 計
						省力化 機器	省エネ 機関	そ の 他	住居改善	漁業開始	
漁業近代 化資金	件数	22	1		3						26
	金額	72,820	660		3,050						76,530
沿岸漁業 改善資金	件数					1					1
	金額					1,080					1,080

### 主要制度資金の貸付実績

(単位：千円)

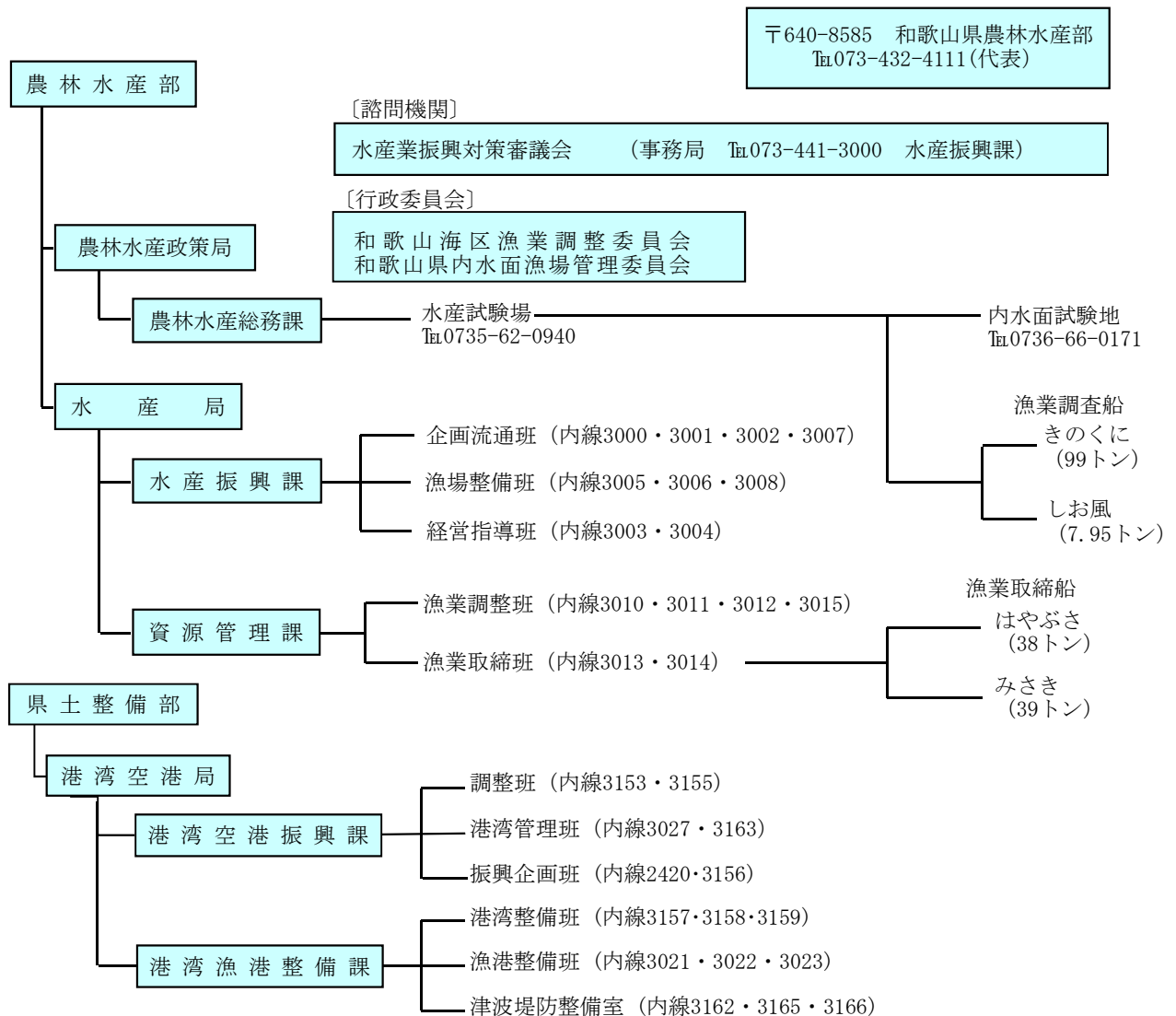
年 度	漁業近代化資金		漁業経営維持安定資金		漁業経営再建資金		沿岸漁業改善資金	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
S63	130	812,310					123	129,773
H元	126	871,560	7	155,000	1	131,600	129	142,715
2	105	731,510					101	125,287
3	112	742,620					127	141,465
4	100	797,808					143	142,406
5	105	901,838					150	160,000
6	102	962,186					123	193,000
7	101	764,366			1	100,000	107	238,943
8	101	736,403					87	232,183
9	94	791,782					77	254,349
10	98	797,470					67	254,100
11	67	515,990					39	149,799
12	57	540,538					55	213,075
13	38	408,084					38	100,475
14	29	407,390					16	62,130
15	30	401,560					12	15,295
16	16	200,220					16	68,421
17	38	241,290					7	34,926
18	8	26,530					5	12,868
19	37	115,960					4	4,350
20	76	327,750					4	2,340
21	16	231,070					3	1,759
22	10	107,480					2	8,800
23	21	422,550					1	930
24	8	43,300					1	20,000
25	105	322,320					2	5,200
26	61	264,960					4	17,470
27	22	82,240					3	2,187
28	26	76,530					1	1,080

※平成17年度から漁業近代化資金には漁業振興資金を含む



# III 組 織 等

(1) 和歌山県水産行政機構



〔出先機関〕

海草振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	Tel.073-441-3385
有田振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	Tel.0737-64-1273
	管理保全課	管理グループ、保全グループ	Tel.0737-64-1284
	工務課	河港グループ	Tel.0737-64-1272
日高振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	Tel.0738-24-2946
	用地・管理課	管理グループ	Tel.0738-24-2931
	河港課	港湾・漁港グループ	Tel.0738-24-2968
西牟婁振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	Tel.0739-22-1443
	管理保全課	管理グループ、保全グループ	Tel.0739-26-7949
	工務課	河港グループ	Tel.0739-26-7925
東牟婁振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	Tel.0735-29-2011
	串本建設部管理保全課	管理グループ、保全グループ	Tel.0735-62-0755
	串本建設部工務課	河港グループ	Tel.0735-62-0755
	新宮建設部管理保全課	管理グループ、保全グループ	Tel.0735-21-9654
	新宮建設部工務課	港湾・漁港グループ	Tel.0735-21-9625
那賀振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	Tel.0736-61-0025
伊都振興局	農業水産振興課	総務・振興グループ	Tel.0736-33-4930
和歌山下津港湾事務所	総務管理課・工務課		Tel.073-431-7266

(公財) 和歌山県栽培漁業協会 (事務局 Tel.073-459-1225)  
 (北部栽培漁業センター " )  
 (南部栽培漁業センター Tel.0735-67-7770)

(2) 水産関係予算（当初予算）

（単位：千円）

科目		年度	H20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
水産局	水産業総務費		1,252,633	1,208,682	1,188,300	1,164,045	1,156,744	1,147,680	1,150,071	437,995	439,123	474,717
	水産業振興費		147,863	510,728	103,449	123,301	89,804	90,565	156,926	84,279	80,181	101,457
	水産業協同組合指導費		9,709	7,210	8,016	7,002	22,509	19,816	18,869	14,511	13,919	7,757
	漁業調整費		61,609	33,502	41,805	49,442	49,976	32,216	34,291	34,208	25,430	17,660
	漁業取締費		67,388	82,789	24,680	67,842	112,241	77,641	96,959	256,727	351,033	121,081
	漁業構造改善費		260,203	232,654	239,697	257,843	198,020	310,541	302,891	331,293	375,096	381,235
	試験場費（水産試験場）		366,621	342,139	343,334	326,603	332,419	323,654	303,887	302,832	269,789	266,124
	計		2,166,026	2,417,704	1,949,281	1,996,078	1,961,713	2,002,113	2,063,894	1,461,845	1,554,571	1,370,031
港湾空港局	水産業総務費		99,885	54,273	72,977	65,432	92,685	74,464	80,181	85,372	84,335	63,790
	漁港管理費		17,401	16,341	16,817	22,910	22,815	23,284	21,755	25,639	26,275	25,206
	漁港建設費		3,699,466	3,536,090	2,132,460	2,407,360	2,006,474	1,955,835	1,985,382	1,999,755	2,366,026	1,917,817
	漁港施設災害復旧費		125,400	125,400	125,400	125,400	125,400	125,400	125,400	125,400	125,400	125,400
	計		3,942,152	3,732,104	2,347,654	2,621,102	2,247,374	2,178,983	2,212,718	2,236,166	2,602,036	2,132,213
合計			6,108,178	6,149,808	4,296,935	4,617,180	4,209,087	4,181,096	4,276,612	3,698,011	4,156,607	3,502,244
沿岸漁業改善資金特別会計			253,264	103,124	402,719	103,146	102,649	102,413	102,380	102,333	102,225	102,155



調査船「きのくに」平成8年11月竣工  
総トン数99トン



漁業取締船「みさき」平成14年7月竣工  
総トン数39トン 最大速度45.8ノット



漁業取締船「はやぶさ」平成28年12月竣工  
総トン数38トン 最大速度36.0ノット

(3) 水産団体

ア 漁業協同組合等の概況  
(ア) 海面漁業協同組合

(平成27年度会計)

組合名	組合員			理事	監事	職員	電 話	出資金 (千円)	販売事業 取扱高 (千円)	製氷冷蔵 取扱高 (千円)	漁業自営 販売高 (千円)	
	正 (人)	准 (人)	計 (人)									
和歌山市 海南市	加 太	105	9	114	7	3	5	073-459-0062	220,000	212,816	1,660	0
	西 脇	23	30	53	5	2	1	073-455-1832	954	53,035	126	0
	雑賀崎	70	2	72	7	2	5	073-444-2282	27,996	340,944	4,101	0
	田野浦※1	23	0	23	5	2	2	073-444-0867	13,470	0	859	0
	和歌浦	27	8	35	5	2	0	073-445-1621	3,100	51,381	2,509	0
	海南市	80	107	187	8	3	0	073-492-2117	7,972	59,650	0	0
	戸 坂※1	32	39	71	5	2	0	073-492-2528	9,864	0	0	0
有田市	有田箕島	501	106	607	19	5	9	0737-83-5555	85,858	1,572,024	37,766	0
有田郡	湯浅湾	145	255	400	12	3	5	0737-62-4581	81,581	379,599	10,220	0
御坊市 日高郡	紀州日高	476	1,150	1,626	15	4	19	0738-22-0451	394,582	1,169,781	60,034	64,003
	由良町	29	55	84	4	2	6	0738-65-1025	15,244	431	1,486	0
	比井崎	88	359	447	6	2	5	0738-64-2231	97,864	89,970	28,054	5,814
	三 尾	32	196	228	5	2	2	0738-62-2201	35,175	83,377	709	0
田辺市 西牟婁郡	和歌山南	395	398	793	9	3	28	0739-22-8520	151,019	861,995	68,956	337,854
	新 庄	45	316	361	6	2	1	0739-22-2057	7,581	1,338	0	5,587
	堅 田	147	12	159	9	3	182	0739-42-3347	35,000	0	0	691,941
東牟婁郡	和歌山東	566	1,465	2,031	13	3	43	0735-62-0080	372,031	1,142,149	716,991	105,869
	太地町	146	236	382	6	3	17	0735-59-2340	13,552	423,843	25,719	101,985
	紀州勝浦※2	54	0	54	5	2	0	0735-52-0951	1,900	-	-	-
	宇久井	53	38	91	6	3	5	0735-54-0008	41,655	462,576	6,341	381,239
新宮市	三輪崎	33	18	51	5	2	2	0735-31-7019	17,673	79,051	3,005	0
	新 宮	40	24	64	6	2	1	0735-22-8622	555	62,657	0	0
合 計		3,110	4,823	7,933	168	57	338		1,634,626	7,046,617	968,536	1,694,292

※1 H29.4合併(和歌山北漁業協同組合)

※2 H28.7設立(数字は設立時)

## (イ) 内水面漁業協同組合

(平成27年度会計)

組合名	組合員			理事	監事	職員	電話	出資金	放流量(28年度)	
	正	准	計						アユ	アマゴ
	人	人	人	人	人	人		千円	kg	尾
玉川	229	59	288	12	3	1	0736-54-4640	576	750	25,400
紀ノ川	505	17	522	14	3	3	0736-66-9111	9,985	3,903	15,900
貴志川	174	840	1,014	22	2	1	073-495-2114	3,122	1,000	3,000
有田川	750	0	750	5	2	1	0737-52-4863	3,845	6,000	34,000
日高川	987	0	987	12	3	9	0738-52-0224	78,960	6,020	115,000
切目川	209	0	209	6	2	0	0738-42-0217	209	160	—
南部川	192	11	203	6	2	0	0739-74-2948	203	100	—
富田川	103	6	109	5	2	0	0739-47-0710	1,290	1,000	22,600
日置川	349	67	416	13	3	1	0739-53-0023	1,248	3,850	60,000
古座川	447	152	599	8	3	1	0735-72-3800	1,230	1,500	20,000
七川	101	71	172	7	2	1	0735-77-0550	860	800	20,000
太田川	189	0	189	13	3	0	0735-58-0010	945	400	—
熊野川	1,331	0	1,331	13	3	1	0735-21-4193	1,331	10,000	120,000
合計	5,566	1,223	6,789	136	33	19		103,804	35,483	435,900

## (ウ) 水産加工業協同組合

(平成27年度会計)

組合名	組合員			理事	監事	職員	電話番号	所在地	出資金
	正	准	計						
和歌山県水産加工業協同組合	19	0	19	6	2	0	0737-63-4690	〒643-0005 有田郡湯浅町大字栖原805	千円 2,520

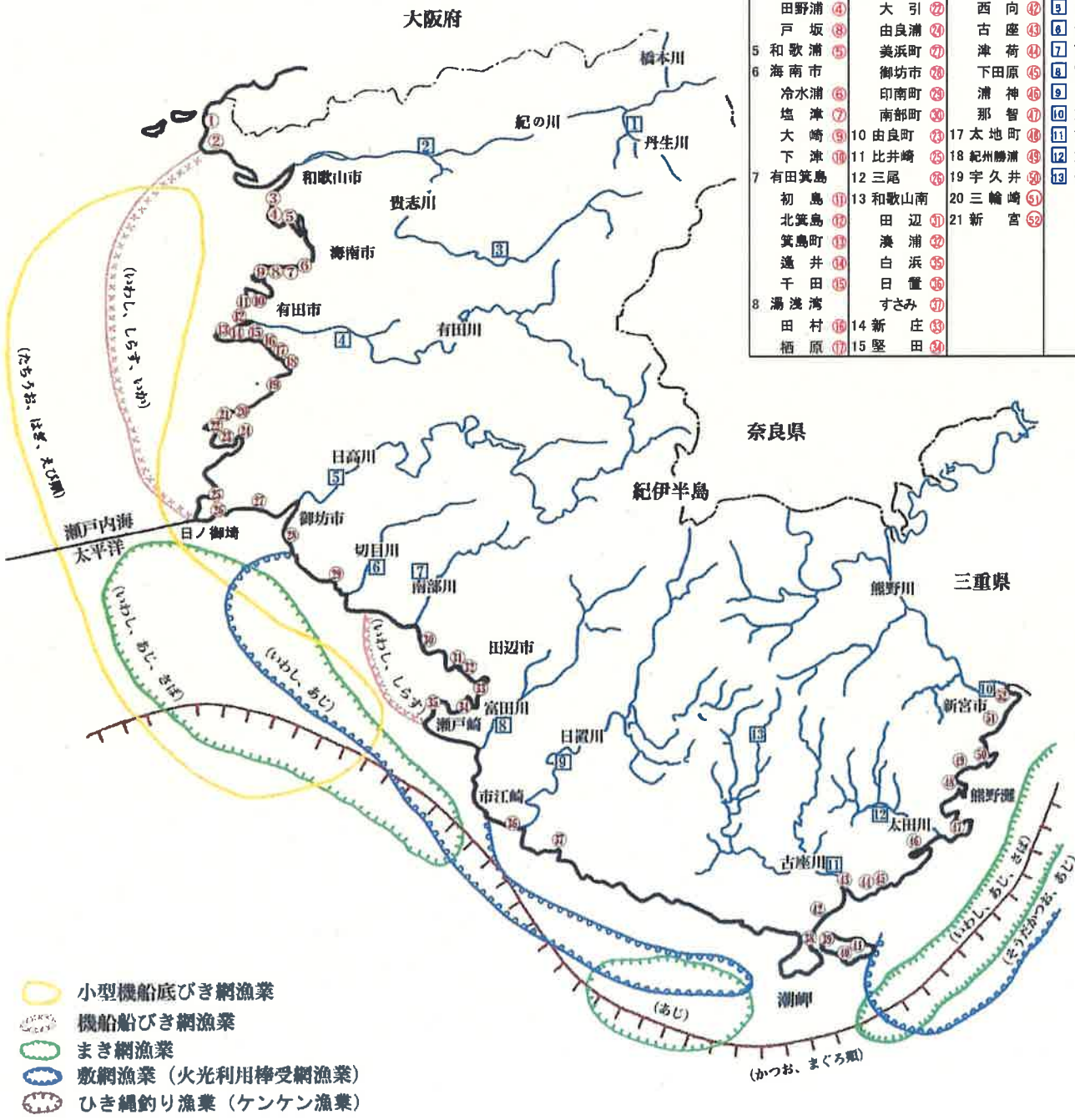
## イ 漁業関係連合会等

(平成29年4月3日現在)

団体名	郵便番号	所在地	代表者	電話番号
和歌山県漁業協同組合連合会	640-8241	和歌山市雑賀屋町東ノ丁30 水産会館内	代表理事会長 木下吉雄	073-431-5101
和歌山県内水面漁業協同組合連合会	649-6112	紀の川市桃山町調月32-3 内水面試験地内	代表理事会長 大杉達	0736-66-0477
全国漁業信用基金協会 和歌山支所	640-8241	和歌山市雑賀屋町東ノ丁30 水産会館内	理事 嶋田栄人	073-432-4800
日本漁船保険組合 和歌山支所			支所長 濱端一生	073-422-8883
全国合同漁業共済組合 大阪・和歌山事務所			所長 亀井睦弘	073-433-3470
(一社)和歌山県漁業相互共済会			会長理事 森口康弘	
全国共済水産業協同組合連合会 和歌山支所			所長 福井隆	073-428-2363
(公財)和歌山県栽培漁業協会	640-0103	和歌山市加太1767-1	理事長 木下吉雄	073-459-1225
なぎさ信用漁業協同組合連合会 和歌山営業本部	640-8241	和歌山市雑賀屋町東ノ丁33	本部長 中田博也	073-432-0761

# 和歌山県の漁場概念図

海面漁協		湯津中央		和歌山東		内水面漁協	
1 加太	①	16 唐尾	⑬	串本	⑭	① 玉川	
2 西脇	②	9 紀州日高		大島	⑮	② 紀ノ川	
3 雑賀崎	③	衣奈浦	⑳	須江	⑯	③ 貴志川	
4 和歌山北		戸津井	㉑	櫻野	⑰	④ 有田川	
田野浦	④	大引	㉒	西向	⑱	⑤ 日高川	
戸坂	⑤	由良浦	㉓	古座	⑲	⑥ 切目川	
5 和歌浦	⑥	美浜町	㉔	津荷	⑳	⑦ 南都川	
6 海南市		御坊市	㉕	下田原	㉑	⑧ 富田川	
冷水浦	⑦	印南町	㉖	浦神	㉒	⑨ 日置川	
塩津	⑧	南部町	㉗	那智	㉓	⑩ 熊野川	
大崎	⑨	10 由良町	㉘	17 太地町	㉔	⑪ 古座川	
下津	⑩	11 比井崎	㉙	18 紀州勝浦	㉕	⑫ 太田川	
7 有田箕島		12 三尾	㉚	19 宇久井	㉖	⑬ 七川	
初島	⑪	13 和歌山南		20 三輪崎	㉗		
北箕島	⑫	田辺	㉛	21 新宮	㉘		
箕島町	⑬	湊	㉜				
逸井	⑭	白浜	㉝				
千田	⑮	日置	㉞				
8 湯浅湾		すさみ	㉟				
田村	⑯	14 新庄	⑳				
栖原	⑰	15 堅田	㉑				



- 小型機船底びき網漁業
- 機船船びき網漁業
- まき網漁業
- 敷網漁業 (火光利用棒受網漁業)
- ひき縄釣り漁業 (ケンケン漁業)

# 私たちの暮らしをうるおす魚介類は このような漁法でとられています。

和歌山県は、紀伊半島の西部に位置しています。四国との間に、魚の宝庫といわれる紀伊水道をはさみ、昔から海と大きなかかわりを持ってきました。

本県の海域は、比較的穏やかな内海性の瀬戸内海、黒潮の影響を強く受ける外洋性の太平洋に分けられ、それぞれの海域の特性に合わせ、様々な種類の漁業が行われています。

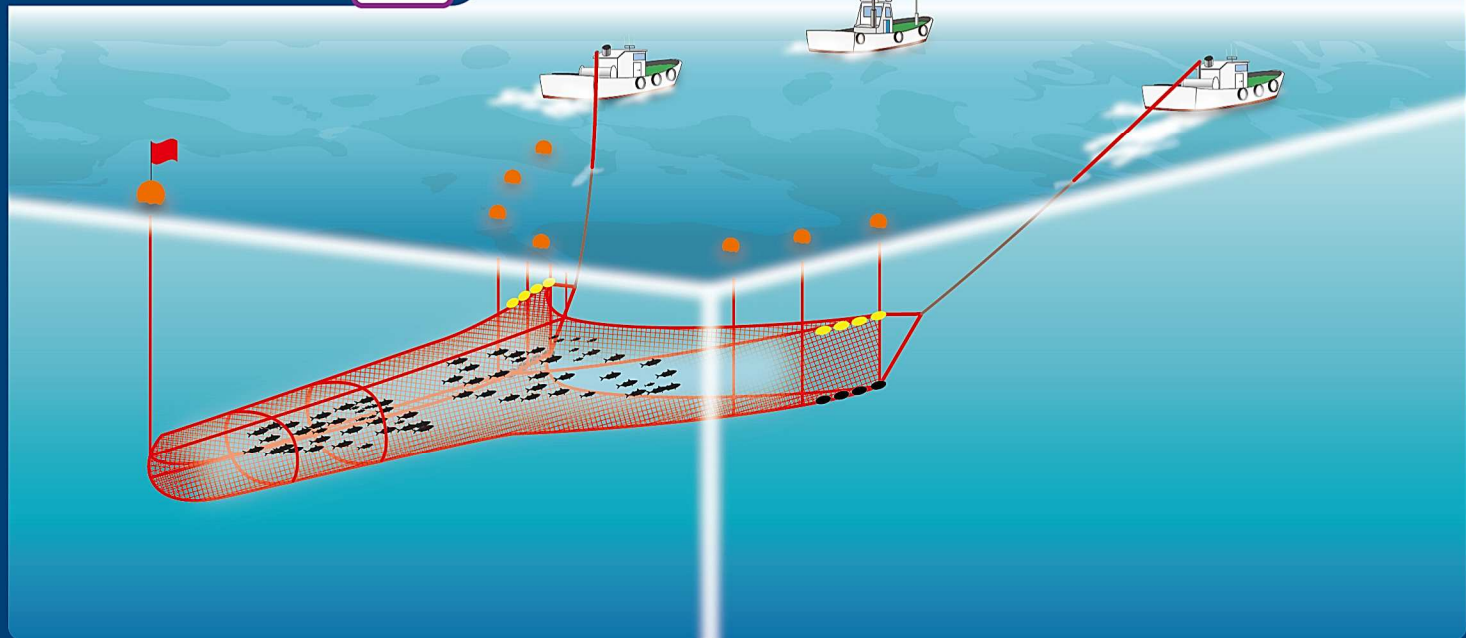
瀬戸内海海域では、一本釣り漁業、小型機

船底びき網漁業、機船船びき網漁業などが行われています。

また、太平洋海域では、ひき縄釣り漁業、はえ縄漁業、一本釣り漁業のほか、まき網漁業、定置網漁業、敷網漁業、刺網漁業などが行われています。

普段、私たちが食べている魚がどのようにして獲られているのか、みんなで一緒にふりかえてみましょう。

## 機船船びき網漁業



### 概要

袋状の網を船でひいて魚を獲る漁法です。  
2隻の網船と魚探船(運搬船)の計3隻の船で漁を行います。

### 漁法の説明

- 1、魚探船が魚の群れを探します。
- 2、魚の群れを見つけると、2隻の網船が魚の群れに向かって網をひきます。
- 3、網をひく時間は通常、1時間～1.5時間です。

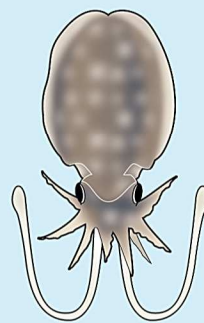
### 漁期

周年(盛漁期 春、秋)

### 漁獲物

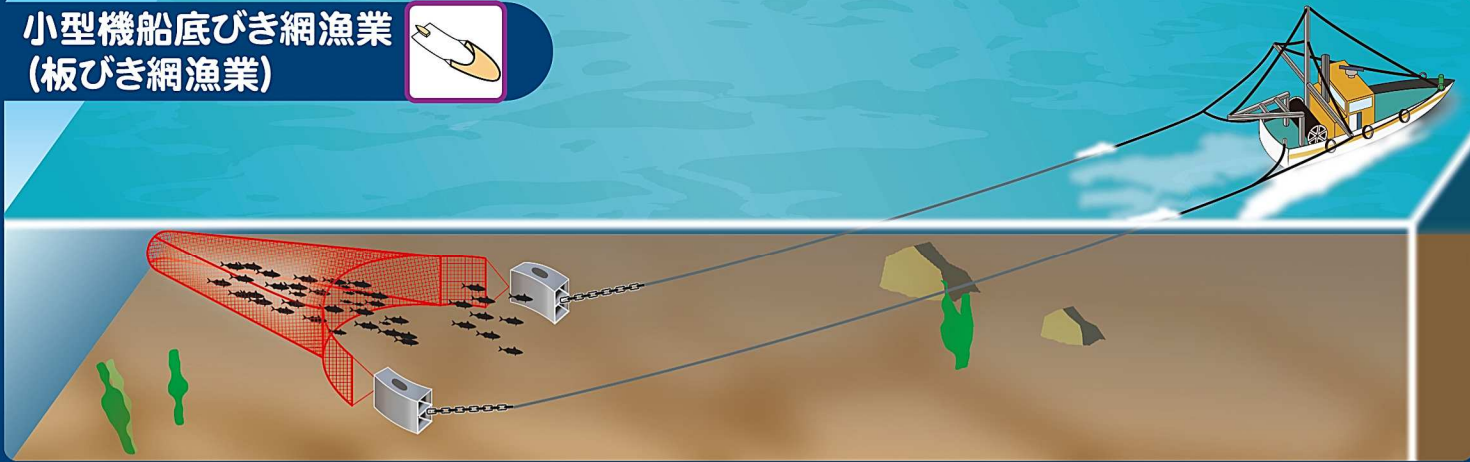


シラス



シリヤケイカ

## 小型機船底びき網漁業 (板びき網漁業)



### 概要

網の口を広げるための「開口板」をつけた袋状の網を船でひき、海底にいる魚を獲る漁法です。

### 漁法の説明

- 1、船の後ろから網を海に投げ入れます。
- 2、魚の群れを探しながら、網をひきます。
- 3、網をひく時間は約1時間です。
- 4、昼間に操業する場合は、午前4時頃に出港して、午後5時頃に帰港します。

※夜間に操業する場合は、午後2時頃に出港して翌日の午前3時頃に帰港します。

### 漁期

周年

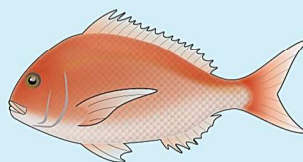
### 漁獲物



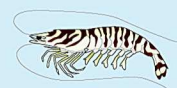
タチウオ



ハモ

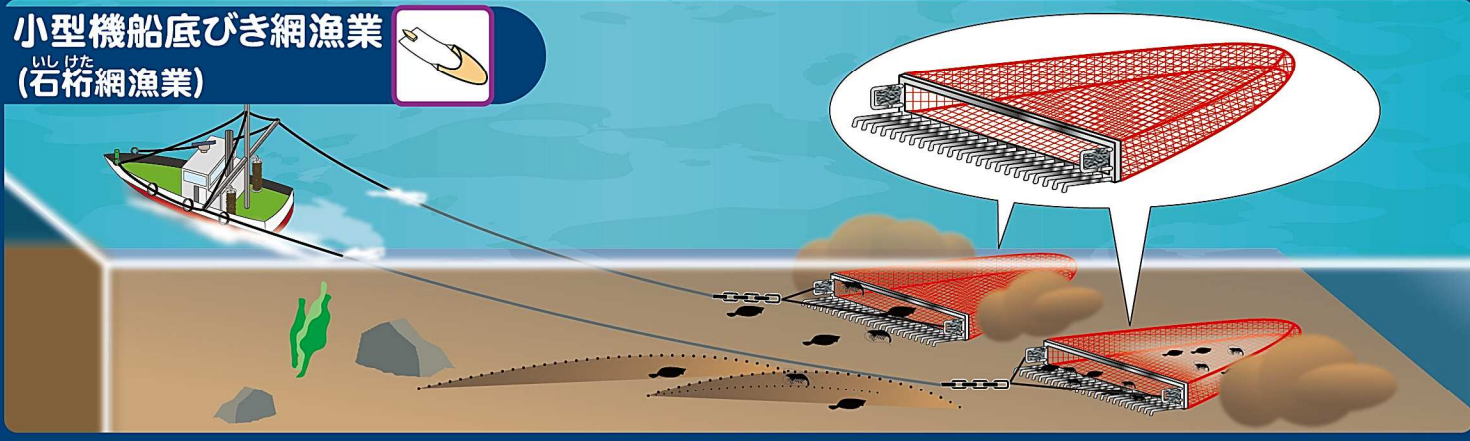


マダイ



エビ類

## 小型機船底びき網漁業 (石桁網漁業)



### 概要

鉄の枠と石のおもりをつけた袋状の網を海に沈め、船でひき、海底をかきおこして魚を獲る漁法です。

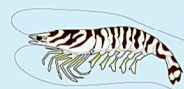
### 漁法の説明

- 1、鉄の枠をつけた網を海底に沈め、ワイヤーでひきます。
- 2、鉄枠の下側についた鉄の爪が海底をかきおこし、エビやカレイなどをとります。
- 3、網をひく時間は約45分です。

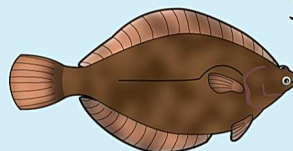
### 漁期

9月～翌年5月

### 漁獲物



エビ類



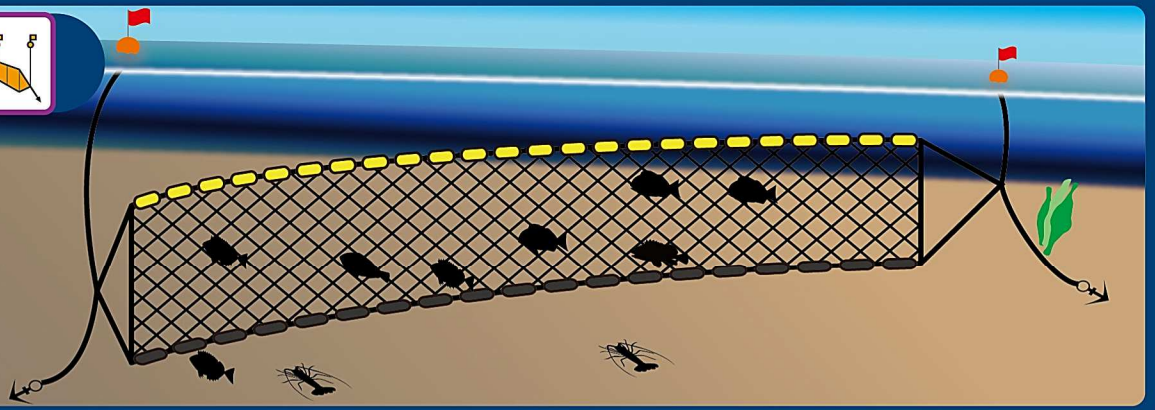
カレイ



アカシタビラメ



ましあみ  
刺網漁業  
(固定式刺網漁業)



概要

目合の異なる網地を2～3枚重ねた網を魚の通り道に仕掛け、魚を絡ませて獲る漁法です。

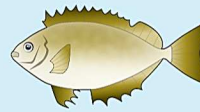
漁法の説明

- 1、岩場へゆっくり船を進め、網を繰り出します。
- 2、夕方までに網を仕掛け、翌朝にひきあげます。

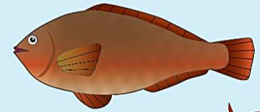
漁期

9月～翌年4月

漁獲物



アイゴ



ブダイ



イセエビ

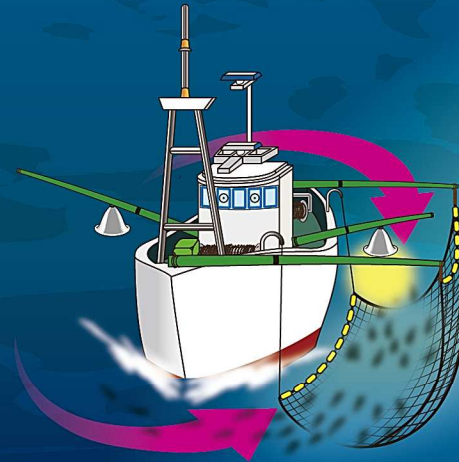


メジナ



カサゴ

ましあみ  
敷網漁業  
(火光利用棒受網漁業)



概要

灯りで魚の群れを網の上に誘い、魚をすくい取る漁法です。

漁法の説明

- 1、灯りで魚を集めます。
- 2、魚が集まっている場所の反対側に網をはります。
- 3、灯りを網側に移し、魚を網の中へ移動させます。
- 4、網をすくいあげます。

漁期

4月～11月(盛漁期7月～10月)

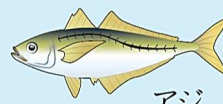
漁獲物



ソウダガツオ



イワシ

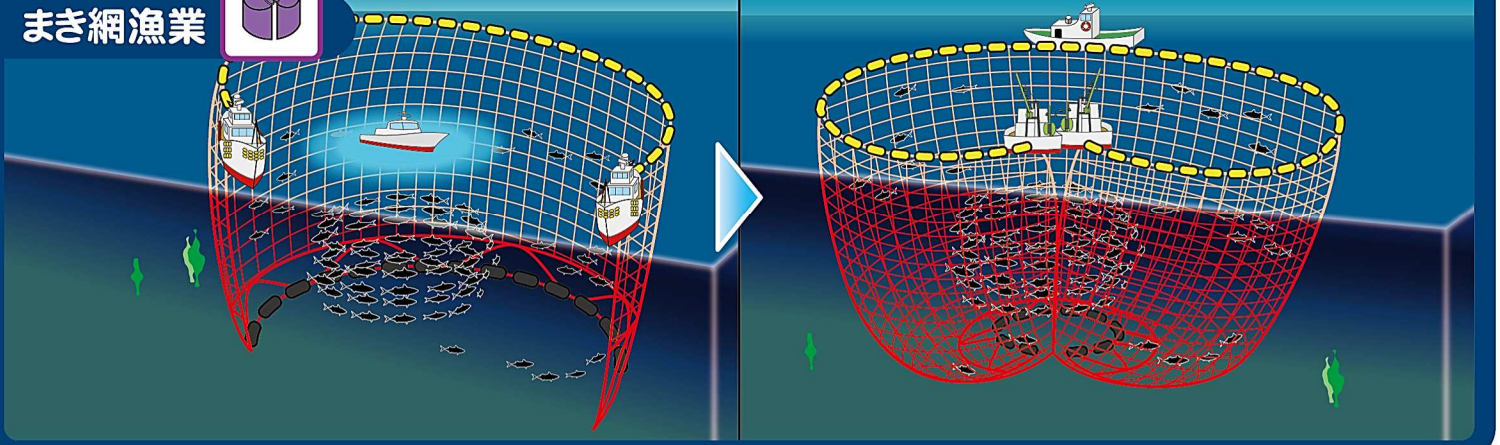


アジ



サバ

## まき網漁業



### 概要

あかりで集めた魚の群れを網で取り囲み、魚を獲る漁法で、網船、魚探船（灯船）、運搬船など4～7隻で船団を組んで漁を行います。

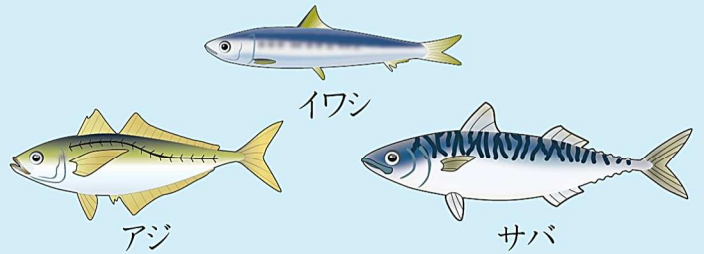
### 漁法の説明

- 1、魚探船が魚の群れを探し、灯りで魚を集めます。
- 2、網船は網で魚の群れを取り囲み、網の下部を巾着のようにしばってあげます。
- 3、魚を運搬船に積み、港へ運びます。

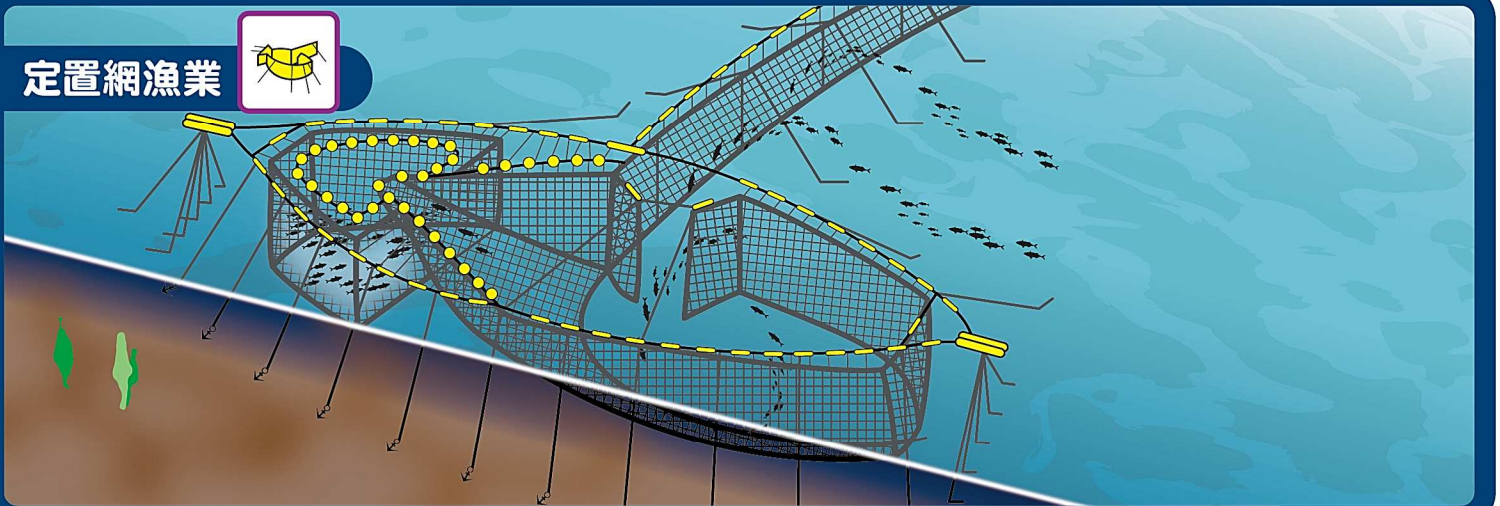
### 漁期

周年（盛漁期3月～10月）

### 漁獲物



## 定置網漁業



### 概要

魚の通り道に大型の網を設置し、魚を誘導して獲る漁法です。

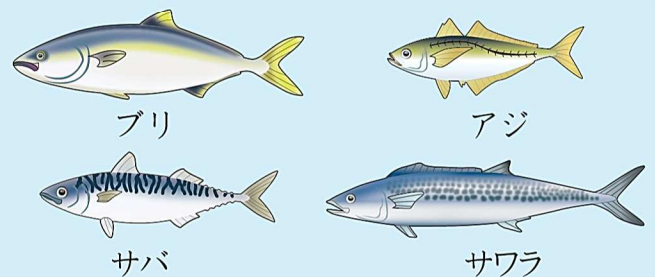
### 漁法の説明

- 1、海に網を設置し、魚が入るのを待ちます。
- 2、垣網に沿って魚群が沖側の囲網（運動場）に誘導され、登網を通過して箱網に落ちます。
- 3、通常、朝夕2回、網をあげます。

### 漁期

周年

### 漁獲物



# ひき縄釣り漁業 (ケンケン魚)



## 概要

船を走らせながら、餌にみせかけた擬餌針をつけた釣糸を複数ひいて、魚を獲る漁法です。  
擬餌針を魚の遊泳層まで沈めるために、潜航板を使用します。

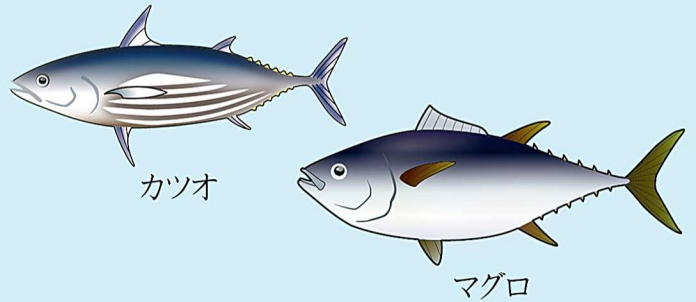
## 漁法の説明

- 1、1本のサオに1～3本の釣糸をつけ、船を走らせながら釣糸をひいて釣ります。
- 2、魚がかかると潜航板が反転して水面上に浮き上がるので、釣糸をたぐって魚を獲ります。

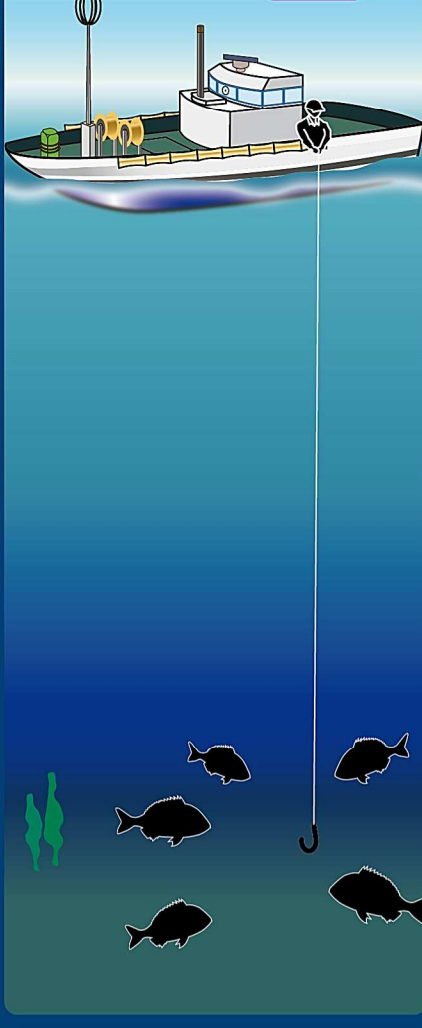
## 漁期

カツオ 2月～5月  
マグロ 1月～3月

## 漁獲物



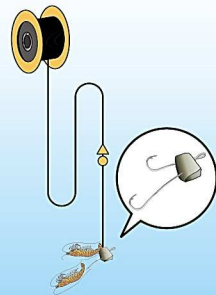
# 一本釣り漁業



## 概要

対象魚の遊泳層に合わせて釣針をおろし、魚を釣り上げる漁法です。

### タイ一本釣り (カブラ釣り)



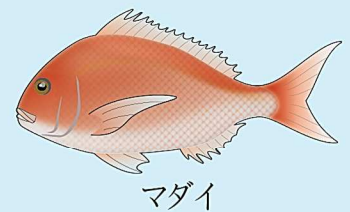
## 漁法の説明

- 1、餌(生きたエビ等)をつけた釣針を海底までおろします。
- 2、タイの泳いでいる深さに釣針をおろし釣り上げます。

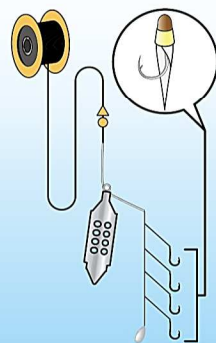
## 漁期

春、秋

## 漁獲物



### アジ・イサキ 一本釣り



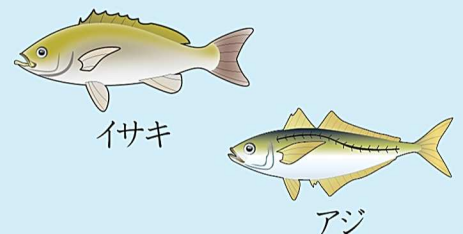
## 漁法の説明

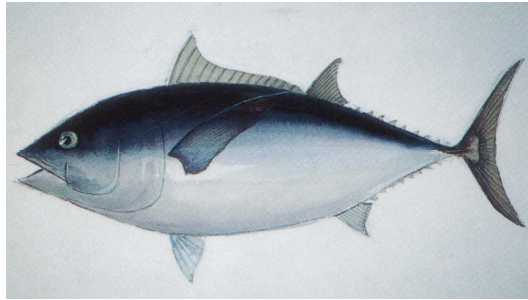
- 1、魚を集める餌をカゴに入れ水中でまきます。
- 2、餌にみせかけた擬餌針で魚を誘い釣りあげます。

## 漁期

周年

## 漁獲物





県の魚「まぐろ」  
(昭和62年制定)

(平成29年6月発行)